

学 則

(令和6年4月1日)

大 妻 女 子 大 学

大妻女子大学学則

制定	昭和48年4月1日	改正	昭和50年4月1日	改正	昭和51年4月1日
改正	昭和52年4月1日	改正	昭和53年4月1日	改正	昭和54年4月1日
改正	昭和55年4月1日	改正	昭和56年4月1日	改正	昭和57年4月1日
改正	昭和58年4月1日	改正	昭和59年4月1日	改正	昭和60年4月1日
改正	昭和61年4月1日	改正	昭和62年4月1日	改正	昭和63年4月1日
改正	平成元年4月27日	改正	平成2年4月1日	改正	平成3年4月1日
改正	平成3年6月24日	改正	平成3年9月24日	改正	平成3年12月24日
改正	平成4年12月18日	改正	平成6年1月27日	改正	平成7年2月1日
改正	平成8年2月1日	改正	平成8年10月28日	改正	平成9年1月30日
改正	平成9年11月4日	改正	平成11年1月29日	改正	平成12年3月30日
改正	平成13年3月29日	改正	平成13年5月25日	改正	平成14年3月22日
改正	平成15年1月28日	改正	平成16年1月27日	改正	平成16年10月26日
改正	平成18年1月27日	改正	平成18年3月29日	改正	平成18年7月28日
改正	平成18年12月19日	改正	平成20年1月30日	改正	平成20年3月27日
改正	平成21年3月26日	改正	平成22年1月28日	改正	平成23年1月28日
改正	平成24年1月30日	改正	平成24年3月28日	改正	平成25年1月29日
改正	平成25年3月27日	改正	平成26年1月30日	改正	平成26年1月30日
改正	平成27年3月27日	改正	平成27年7月24日	改正	平成27年12月21日
改正	平成27年12月21日	改正	平成28年10月28日	改正	平成29年1月27日
改正	平成29年5月29日	改正	平成30年1月26日	改正	平成30年3月28日
改正	平成31年1月29日	改正	平成31年3月28日	改正	令和元年10月25日
改正	令和2年1月29日	改正	令和2年3月27日	改正	令和2年5月27日
改正	令和2年12月22日	改正	令和3年1月29日	改正	令和3年3月26日
改正	令和4年1月28日				

※令和5年4月1日施行の学則から、最終承認日は附則に記載

第1章 総 則

第1条 本学は教育基本法に基づき、学校教育法の定めるところに従い、広く知識を授けると共に深く専門の学芸を教授研究して、応用的能力の展開と人格の完成に努め、高い知性と豊かな情操を有する女性の育成を目的とする。

第2条 本学は、学校法人大妻学院がこれを設置する。

2 本学は東京都千代田区三番町12番地及び東京都多摩市唐木田2丁目7番地1に置く。

第2条の2 本学は、教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の点検及び評価に関する事項は別に定める。

第2章 学部及び学科

第3条 本学に、次の学部、学科及び専攻を置く。

家政学部	被服学科	
	食物学科	食物学専攻 管理栄養士専攻
	児童学科	児童学専攻 児童教育専攻
	ライフデザイン学科	
文学部	日本文学科	
	英語英文学科	
	コミュニケーション文化学科	
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻 環境情報学専攻 情報デザイン専攻
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻 社会・臨床心理学専攻
	人間福祉学科	
比較文化学部	比較文化学科	

2 本学に大学院を置く。大学院の規程は別に定める。

3 本学に人間生活文化研究所を置く。人間生活文化研究所の規程は別に定める。

第3条の2 各学部、学科の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

一 家政学部

新しい時代に求められる学びをリードする「未来志向型サイエンス」を主軸に教育を行い、自立心あふれる職業人を育成する。

イ 被服学科

衣を通して、イマジネーションにあふれる生活を創造し、新しい価値観と豊かな心を育み、夢のある社会の形成に参加できる人を育成する。

ロ 食物学科

「食」の専門家として高度な技術と知識を持ち、社会に貢献できる人材を育成する。

ハ 児童学科

子どもの成長を総合的に支援していくために必要な専門性をもった人材を育成する。

ニ ライフデザイン学科

21世紀に求められる真に豊かな生活や自立した生き方をデザインし、提言できる人材を育成する。

二 文学部

「ことば」による広い意味でのコミュニケーションを教育のテーマとし、実技と知識・感覚の錬磨を学修と教育の両輪とすることにより、時代の進展に柔軟に適應できる有為な人材を養成する。

イ 日本文学科

日本語と日本文学を通して、人間理解を深め、豊かな教養と人間性を養う。

ロ 英語英文学科

英語とそれを中心とした文学や文化の学修を通して、人間理解を深め、国際性豊かな人材を育成する。

ハ コミュニケーション文化学科

国際性、現代性、学際性をキーワードに、社会・文化をとらえ、国際的なコミュニケーションの場で自立できる女性を育成する。

三 社会情報学部 社会情報学科

現代社会が要求する情報リテラシーを修得し、高度に発達したIT社会で活躍することのできる人材を養成する。

社会生活情報学専攻では、意思決定と自己表現ができる、社会知識のある女性を育成する。

環境情報学専攻では、環境問題の発生から解決までを学び、総合的な視点を養うことのできる人材を育成する。

情報デザイン専攻では、高度な情報処理能力によって情報システムを具現化できる人材、及びヒューマンスキルに基づいて情報を的確に表現できる人材を育成する。

四 人間関係学部

「共生社会」の実現を目指して、さまざまな人々や社会と共存するための知識を学び、人間関係や社会についての洞察力を身につけ、人間の幸福や福祉についての深い理解を修得し、柔軟な想像力・すぐれた問題解決能力・実践力を備えた心豊かな人材を育成する。

イ 人間関係学科

社会学専攻では、社会学的想像力と社会調査のスキルを備え、幅広い視野と柔軟な発想を持った人材を育成する。

社会・臨床心理学専攻では、人間関係にまつわる問題に、適切に対処できる「人間関係力」を備えた人材を育成する。

ロ 人間福祉学科

生活を送る上で様々な課題を持っている人々が、「共生」できる社会を創ることに貢献できる人材を養成する。

五 比較文化学部 比較文化学科

2カ国語を修得し、各地域毎の文学、美術、宗教、政治、歴史などを日本文化と比較研究することにより、急激に変化する国際社会にも柔軟に対応できる人材を育成する。

第3章 授業科目

第4条 本学における各学部の授業科目は別表（1）のとおりとする。

- 2 教職、司書、司書教諭及び学芸員に関する専門教育科目はそれぞれ別表（2）、別表（3）、別表（4）及び別表（5）のとおりとする。
- 3 日本語教員養成プログラムに関する専門教育科目は別表（6）のとおりとする。

第4章 履修方法、卒業の認定及び学位の授与

第5条 修業年限は4年とし、在学年数は8年を超えることはできない。

- 2 毎学年の授業期間は、定期試験等の期間を含め35週にわたることを原則とする。
- 3 第1項の規定にかかわらず、3年次編入学者の修業年限は2年とし、在学年数は6年を超えることはできない。

第5条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

- 2 前項の授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 3 メディアを利用して行う授業は、あらかじめ指定した日時にパソコンその他双方向の通信手段によって行う。
- 4 前項の授業を実施する授業科目については、別に定める。

第6条 各授業科目の単位数は、45時間の学修を必要とする授業内容をもって1単位とすることを原則とし、当該授業による教育効果、授業外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算する。

- 一 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
 - 二 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
 - 三 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前二号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等については、学修の成果を評価するものとし、所定の単位を与える。

第7条 本学を卒業するためには、最低次の単位を修得しなければならない。

家政学部

学 科・専 攻		全学共通科目	専 門 教 育 科 目	
被 服 学 科		34単位	90単位	他専攻・他学科が履修を可とした科目は、6科目8単位を限度として認められる。
食物学科	食 物 学 専 攻	28単位	96単位	
	管 理 栄 養 士 専 攻	28単位	111単位	
児童学科	児 童 学 専 攻	28単位	114単位	他専攻・他学科が履修を可とした科目は、6科目8単位を限度として認められる。
	児 童 教 育 専 攻	20単位	129単位	
ライフデザイン学科		34単位	90単位	

文学部

学 科	全学共通科目	専 門 教 育 科 目	
日 本 文 学 科	37単位	88単位	他学科が履修を可とした科目は、8 科目16単位を限度として認められ る。
英 語 英 文 学 科	37単位	88単位	
コミュニケーション文化学科	37単位	90単位	

社会情報学部

学 科・専 攻		全学共通科目	専 門 教 育 科 目	
社 会 情 報 学 科	社会生活情報学専攻	34単位	90単位	他専攻の授業科目は、10単位を 限度として認められる。
	環境情報学専攻	34単位	90単位	
	情報デザイン専攻	34単位	90単位	

人間関係学部

学 科・専 攻		全学共通科目	専 門 教 育 科 目	
人間関係 学科	社会学専攻	32単位	94単位	他専攻・他学科が履修を可とした科目 は、12科目24単位を限度として認 められる。 卒業のための最低修得単位数を超えて 修得した全学共通科目は、3科目6単 位を限度として認められる。
	社会・臨床心理学専攻	38単位	88単位	
人間福祉学科		26単位	100単位	他専攻・他学科が履修を可とした科目 は、17科目34単位を限度として認 められる。 卒業のための最低修得単位数を超えて 修得した全学共通科目は、6科目12 単位を限度として認められる。

比較文化学部

学 科	全学共通科目	専 門 教 育 科 目
比 較 文 化 学 科	38単位	88単位

2 他学部の授業科目の履修及び修得単位について、次のとおり定める。

- (1) 社会情報学部においては、家政学部、文学部、人間関係学部及び比較文化学部が別に指定した授業科目を履修することができる。これにより修得した単位は11単位を超えない範囲で前項に定める全学共通科目の単位数に含めることができる。
- (2) 人間関係学部人間関係学科においては、家政学部、文学部、社会情報学部及び比較文化学部が別に指定した授業科目を履修することができる。これにより修得した単位は社会学専攻は11単位、社会・臨床心理学専攻は17単位を超えない範囲で前項に定める全学共通科目の単位数に含めることができる。
- (3) 人間関係学部人間福祉学科においては、家政学部、文学部、社会情報学部及び比較文化学部が別に指定した授業科目を履修することができる。これにより修得した単位は8単位を超えない範囲で前項に定める全学共通科目の単位数に含めることができる。

- (4) 比較文化学部においては、家政学部、文学部、社会情報学部及び人間関係学部が別に指定した授業科目を履修することができる。これにより修得した単位は7単位を超えない範囲で前項に定める全学共通科目の単位数に含めることができる。
- (5) 家政学部においては、文学部、社会情報学部、人間関係学部及び比較文化学部が別に指定した授業科目を履修することができる。これにより修得した単位は8単位を超えない範囲で前項に定める全学共通科目の単位数に含めることができる。
- (6) 文学部においては、家政学部、社会情報学部、人間関係学部及び比較文化学部が別に指定した授業科目を履修することができる。これにより修得した単位は8単位を超えない範囲で前項に定める全学共通科目の単位数に含めることができる。

3 第1項の規定により卒業の要件として修得すべき単位のうち、第5条の2第2項の授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。

第7条の2 教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、次の各号の場合について準用する。

- 一 外国の大学又は短期大学に留学する場合
- 二 外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合
- 三 外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合

3 前2項に定める単位認定に関する事項は、別に定める。

第7条の3 教育上有益と認めるときは、短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることのできる単位数は、前条第1項及び第2項により本学において修得したものとみなした単位数と合わせ60単位を超えないものとする。

3 前項に定める単位認定に関する事項は、別に定める。

第7条の4 教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、入学後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第7条の2第1項及び第2項並びに前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせ60単位を超えないものとする。

4 前項に定める単位認定に関する事項は、別に定める。

第8条 教育職員免許状を得ようとする者は、第7条に規定するもののほか、教育職員免許法及び同法施行規則に規定する単位を含めて修得しなければならない。

2 司書教諭の資格を得ようとする者は、学校図書館法及び学校図書館司書教諭講習規程の定め

るところにより単位を修得しなければならない。

- 3 司書の資格を得ようとする者は、図書館法及び同法施行規則の定めるところにより単位を修得しなければならない。
- 4 学芸員の資格を得ようとする者は、博物館法及び同法施行規則の定めるところにより単位を修得しなければならない。
- 5 保育士の資格を得ようとする者は、児童福祉法施行令及び同法施行規則の定めるところにより単位を修得しなければならない。
- 6 前各項に定める司書教諭、司書及び学芸員に関する専門教育科目は、第7条に定める所定の単位のほかに修得しなければならない。
- 7 栄養士の資格を得ようとする者は、栄養士法施行規則の定めるところにより単位を修得しなければならない。
- 8 管理栄養士国家試験の受験資格を得ようとする者は、管理栄養士学校指定規則の定めるところにより単位を修得しなければならない。
- 9 公認心理師国家試験の受験資格を得ようとする者は、公認心理師法及び同法施行規則の定めるところにより単位を修得しなければならない。
- 10 社会福祉士国家試験の受験資格を得ようとする者は、社会福祉士及び介護福祉士法及び同法施行規則の定めるところにより単位を修得しなければならない。
- 11 精神保健福祉士国家試験の受験資格を得ようとする者は、精神保健福祉士法及び同法施行規則の定めるところにより単位を修得しなければならない。
- 12 介護福祉士国家試験の受験資格を得ようとする者は、社会福祉士及び介護福祉士法及び同法施行規則の定めるところにより単位を修得しなければならない。

なお、社会福祉士介護福祉士学校養成施設指定規則に掲げる科目に相当する科目の出席時数が同規則に定める時間数の3分の2（ただし、介護実習については5分の4）に満たない者については、当該科目の単位は与えない。

第9条 各学部、学科及び専攻において、取得できる第8条第1項に定める教育職員免許状の種類及び教科は次のとおりとする。

学 部	学 科・専 攻	教育職員免許状の種類	教科
家 政 学 部	被服学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	家庭
	食物学科 食物学専攻	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	家庭
		栄養教諭二種免許状	
	食物学科 管理栄養士専攻	栄養教諭一種免許状	
	児童学科 児童学専攻	幼稚園教諭一種免許状	
	児童学科 児童教育専攻	小学校教諭一種免許状	
中学校教諭一種免許状		理科	
文 学 部	日本文学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国語
	英語英文学科	中学校教諭一種免許状	英語

		高等学校教諭一種免許状	
社会情報学部	社会情報学科 社会生活情報学専攻	高等学校教諭一種免許状	情報
	社会情報学科 環境情報学専攻	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	理科
	社会情報学科 情報デザイン専攻	高等学校教諭一種免許状	情報

2 各学部、学科及び専攻において、取得できる第8条第2項から第12項に定める資格・受験資格は次のとおりとする。

学 部	学 科・専 攻	資格・受験資格
家 政 学 部	被服学科	学芸員
	食物学科 食物学専攻	司書 学芸員 栄養士
	食物学科 管理栄養士専攻	栄養士 管理栄養士国家試験
	児童学科 児童学専攻	司書 学芸員 保育士
	児童学科 児童教育専攻	司書教諭 司書 学芸員
	ライフデザイン学科	司書 学芸員
文 学 部	日本文学科	司書教諭 司書 学芸員
	英語英文学科	司書教諭 司書 学芸員
	コミュニケーション文化学科	司書 学芸員
社会情報学部	社会情報学科	司書教諭 司書 学芸員
人間関係学部	人間関係学科 社会学専攻	司書 学芸員
	人間関係学科 社会・臨床心理学専攻	司書 学芸員 公認心理師国家試験 (大学院における科目修得又

		は実務経験を必要とする)
	人間福祉学科	司書 学芸員 社会福祉士国家試験 精神保健福祉士国家試験 介護福祉士国家試験
比較文化学部	比較文化学科	司書 学芸員

3 前2項の取得について必要な事項は、別に定める。

第10条 授業科目は、原則として配当された各年次において履修するものとする。

2 1年間に履修科目として登録することができる単位数の上限は、別に定める。

第11条 学生が授業科目を履修した場合は試験を行い、合格者に対しては単位を与える。

2 試験は毎年前期及び後期の二期に筆記、口述及び論文等の方法によって行う。

3 試験の成績はS、A、B、C及びDとし、Dは不合格とする。

第12条 本学に4年以上在学し、第4条に定める授業科目及び第7条に定める単位数を修得した者については、教授会における審議を経て、卒業を認定する。ただし、本学に3年以上在学し、本学が定める卒業に必要な単位数を優秀な成績で修得したと認める場合は、第5条第1項の規定にかかわらず、早期に卒業を認めることがある。

2 前項により卒業を認定した者に対して学士の学位を授与する。

3 前項の学位の表記は、次のとおりとする。

家政学部	学 士 (家 政 学)
文学部	学 士 (文 学)
社会情報学部	学 士 (社会情報学)
人間関係学部	学 士 (人間関係学)
比較文化学部	学 士 (比較文化学)

4 第1項前段の規定にかかわらず、3年次編入学生の卒業に必要な在学年数は2年以上とする。

第5章 入学、退学、休学、復学、転学、留学、転部・転科・転専攻、編入学、再入学及び除籍

第13条 入学の時期は、学年の初めとする。

2 前項の規定にかかわらず、適当であると認めるときは、学期の初めにも入学させることができる。

第14条 本学に入学し得る者は、次の各号の一に該当する女子とする。

- 一 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- 二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- 三 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- 四 文部科学大臣が、高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設

の当該課程を修了した者

五 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

六 文部科学大臣の指定した者

七 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定（以下「旧検定」という。）に合格した者を含む。）

八 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

第15条 入学志願者に対しては、別に定めるところにより選考を行う。

第16条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに本人の誓約書及び連帯保証人の保証書、その他の書類を提出し、所定の納付金を納入しなければならない。

第16条の2 前条の入学手続を完了した者に入学を許可する。

第17条 連帯保証人は父母、近親者又は本学が定めた者とする。

2 連帯保証人は、その学生が本学に対して負担する債務を連帯保証する。

3 連帯保証人について本学で適当でないと認めるときは変更させることがある。

4 連帯保証人が連帯保証する、本学に対して負担する債務の範囲は、保証書に定める。

第18条 疾病その他止むを得ない理由により退学しようとする場合は、許可を得て退学することができる。

第19条 疾病その他止むを得ない理由により、3か月以上欠席する場合は、許可を得て休学することができる。

2 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

3 休学期間は、通算して2年を超えることができない。

第20条 前条の理由が解消したときは、許可を得て復学することができる。

第21条 休学の期間は在学年数に算入しない。

第22条 本学から他の大学へ、若しくは他の大学から本学へ転学を志願する学生で、正当の理由があると認められた場合にはこれを許可することができる。

ただし、その場合は転学許可書と共に、在学年限及び既得単位の証明書によって、転籍事実を明らかにしなければならない。

第22条の2 教育上有益と認めるときは、学生が外国の大学における学修のため留学することを許可することができる。

2 前項の規定により外国の大学において学修する期間は、1年を限度とする。

3 学生が留学の期間において履修した授業科目について修得した単位を、第7条の2の規定に基づき、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

4 外国の高等教育研究機関のうち、大学に相当するものとして認定したものにおいて履修した学生についても、前項の規定を準用して本学における相当する授業科目の履修とみなし、単位を修得したものとすることができる。

5 第1項の許可を得て留学した期間は、第12条に定める在学期間を含める。

6 前項までに定めるもののほか、学生の留学について必要な事項は、別に定める。

第22条の3 休学期間中に他の大学又は短期大学等において履修した授業科目について修得した単位を、第7条の2の規定に基づき、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 休学期間中に行う大学以外の教育施設等における学修を、第7条の3の規定に基づき、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

第22条の4 本学3年次に編入学し得る者は、次の各号の一に該当する女子とする。

- 一 大学を卒業した者又は学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- 二 短期大学を卒業した者
- 三 高等専門学校を卒業した者
- 四 大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者
- 五 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）
- 六 高等学校等の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）
- 七 外国において学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者（日本における外国の大学又は短期大学相当として文部科学大臣が指定した外国の学校を含む。）

第22条の5 転部、転科又は転専攻を希望する者があるときは、受け入れ学部、学科又は専攻に欠員のある場合に限り、別に定める規程により選考の上、これを許可することがある。

第23条 第18条の規定により本学を退学した者で、退学後2年以内に再入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り選考の上再入学を許可することがある。

第23条の2 次の各号の一に該当する者は、除籍することができる。

- 一 第5条第1項及び第3項に定める在学年数を超えた者
- 二 第19条第3項に定める休学の期間を超えてなお修学できない者
- 三 授業料及び教育充実費を滞納し、督促してもなお納入しない者
- 四 長期にわたり行方不明の者

2 前項第3号及び第4号の理由により除籍となった者で、除籍後2年以内に再入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り選考の上再入学を許可することがある。

第23条の3 第13条及び第15条から第17条までの規定は、転部・転科・転専攻、編入学及び再入学に準用する。

第6章 賞 罰

第24条 次の各号の一に該当する者に対しては、表彰し、又は賞品を授与することがある。

- 一 学力が特に優秀な者
- 二 品性高潔であって全学生の模範とするにたる者
- 三 課外活動等において功績の顕著な者

第25条 学則その他本学が定める規則を守らず本学学生としての本分に反する行為をした者は、これを懲戒する。

- 2 懲戒は訓告、停学及び退学とする。
 - 3 前項の退学は次の各号の一に該当する者に対して行う。
 - 一 性行不良で改善の見込みがないと認められた者
 - 二 学力劣等で成業の見込みがないと認められた者
 - 三 正当の理由がなくて出席の常でない者
 - 四 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者
 - 4 懲戒の処分の手続きは、別に定める。
- 第25条の2 停学の期間は、原則として在学年数に算入しない。

第7章 授業料その他の納付金

第26条 授業料その他の納付金の額を次のとおり定める。

- 一 入学検定料 35,000円（ただし、一般選抜B方式（大学入学共通テストを利用する選抜）については、15,000円）
- 二 入学金 250,000円
- 三 授業料

家政学部

- | | |
|-----------|--|
| 被服学科 | 775,000円（2年次 785,000円、3年次 795,000円、4年次 805,000円） |
| 食物学科 | 775,000円（2年次 785,000円、3年次 795,000円、4年次 805,000円） |
| 児童学科 | 765,000円（2年次 775,000円、3年次 785,000円、4年次 795,000円） |
| ライフデザイン学科 | 765,000円（2年次 775,000円、3年次 785,000円、4年次 795,000円） |
| 文学部 | 745,000円（2年次 755,000円、3年次 765,000円、4年次 775,000円） |
| 社会情報学部 | 755,000円（2年次 765,000円、3年次 775,000円、4年次 785,000円） |
| 人間関係学部 | 745,000円（2年次 755,000円、3年次 765,000円、4年次 775,000円） |
| 比較文化学部 | 745,000円（2年次 755,000円、3年次 765,000円、4年次 775,000円） |

四 教育充実費

家政学部

- | | |
|-----------|--|
| 被服学科 | 430,000円（2年次 440,000円、3年次 450,000円、4年次 460,000円） |
| 食物学科 | 430,000円（2年次 440,000円、3年次 450,000円、4年次 460,000円） |
| 児童学科 | 420,000円（2年次 430,000円、3年次 440,000円、4年次 450,000円） |
| ライフデザイン学科 | 420,000円（2年次 430,000円、3年次 440,000円、4年次 450,000円） |
| 文学部 | 420,000円（2年次 430,000円、3年次 440,000円、4年次 450,000円） |
| 社会情報学部 | 430,000円（2年次 440,000円、3年次 450,000円、4年次 460,000円） |
| 人間関係学部 | 420,000円（2年次 430,000円、3年次 440,000円、4年次 450,000円） |
| 比較文化学部 | 420,000円（2年次 430,000円、3年次 440,000円、4年次 450,000円） |

五 実験実習費 実費

六 その他の納付金については、別に定める。

七 第1号に定める入学検定料については、一般選抜において複数の学科・専攻に同時に出願する場合は、次のとおり入学検定料割引を適用することができる。

- ① A方式において同時に2学科・専攻以上に出願する場合は、2学科・専攻目より1学科・専攻につき5,000円とする。

② B方式（大学入学共通テストを利用する選抜）において同時に2学科・専攻以上に出願する場合は、2学科・専攻目より1学科・専攻につき5,000円とする。

2 転学、転部・転科・転専攻、編入学及び再入学の場合の授業料その他の納付金の額については、別に定める。

第27条 授業料その他の納付金は、指定された期日までに納入しなければならない。

第28条 休学期間中の授業料は全額免除とし、教育充実費は半額免除とする。ただし、学期の途中で休学又は復学する者は、その期の所定の学費を納入しなければならない。

2 欠席又は停学中の者の授業料及び教育充実費は減免しない。

3 第22条の2の規定により留学を許可された者の留学期間中の授業料は全額免除とする。ただし、本学と外国の大学又は短期大学との交換留学協定（授業料等を相互に不徴収とすることを定めているものに限る。）に基づく交換留学生として、留学を許可された者を除く。

第28条の2 特に必要と認めた場合には、第26条に定める学生納付金を減免することができる。

2 学生納付金の減免に関する規程は別に定める。

第29条 退学又は除籍された者に対しても既納の授業料及び教育充実費は返戻しない。また未納の時は直ちに納入しなければならない（第23条の2第3号に該当するものを除く）。

第30条 削除

第31条 学生の中で、品行方正、学力優秀であって修業中学費支弁の途を失った者に対しては、貸費生として別に定める額を貸与することがある。

第32条 貸費生で卒業した者は、卒業の翌年から毎月貸与額の48分の1を月賦で返済することを要する。

第8章 教職員組織

第33条 本学に学長を置く。学長に事故のあるときはあらかじめ定めた者が代理する。

2 学長は、校務をつかさどり、所属教職員を統督する。

第33条の2 本学に副学長を置くことができる。

2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

第33条の3 学部に学部長を置く。

2 学部長は、学部に関する校務をつかさどる。

第34条 本学に教育及び研究のため、教授、准教授、講師、助教、助教（実習担当）及び助手を置く。その定員は別にこれを定める。

第35条 本学に事務遂行のため、一定数の職員を置く。

第9章 教授会

第36条 学部に教授会を置く。

2 教授会は本学専任の教授、准教授、講師及び助教をもって組織する。

第37条 学部の教授会（以下「学部教授会」という。）は、次の事項を審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- 一 学生の入学及び卒業
- 二 学位の授与

- 三 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、学部教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの
- 2 学部教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長、学部長の求めに応じ、意見を述べるができるものとする。また、学科、専攻等は、学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学部長の求めに応じ、意見を述べるができるものとする。
- 3 学部教授会は、必要に応じて専門委員会を設け、その権限を委譲することができる。

第9章の2 運営会議

第37条の2 本学に運営会議を置く。

- 2 運営会議は、本学の教育研究に関する重要な事項について審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
- 3 運営会議に関する事項は、別に定める。

第10章 学生定員及び学級数

第38条 学生定員は次のとおりとする。

	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
一 家政学部			
被服学科	110名	7名	454名
食物学科			
食物学専攻	80名	—	320名
管理栄養士専攻	50名	—	200名
児童学科			
児童学専攻	80名	—	320名
児童教育専攻	50名	5名	210名
ライフデザイン学科	120名	7名	494名
二 文学部			
日本文学科	120名	7名	494名
英語英文学科	120名	7名	494名
コミュニケーション文化学科	120名	7名	494名
三 社会情報学部			
社会情報学科			
社会生活情報学専攻	100名	5名	410名
環境情報学専攻	100名	5名	410名
情報デザイン専攻	100名	5名	410名
四 人間関係学部			
人間関係学科			
社会学専攻	80名	4名	328名
社会・臨床心理学専攻	80名	4名	328名
人間福祉学科	100名	2名	404名
五 比較文化学部			
比較文化学科	165名	5名	670名

- 2 家政学部食物学科食物学専攻及び児童学科児童学専攻の学級数は、1学年各2学級、4学年

合計各 8 学級とし、家政学部食物学科管理栄養士専攻の学級数は、1 学年 1 学級、4 学年合計 4 学級とする。

3 人間関係学部人間福祉学科の介護福祉士養成課程の定員は 1 学年 1 学級 30 名とし、4 学年合計 4 学級 120 名とする。

第 1 1 章 附属施設

第 3 9 条 本学に次の附属施設を置く。

- 一 図書館
- 二 寄宿舍
- 三 健康センター
- 四 心理相談センター
- 五 学生相談センター
- 六 博物館
- 七 キャリア教育センター
- 八 教職総合支援センター
- 九 国際センター
- 十 地域連携推進センター
- 十一 英語教育研究所

2 前項の附属施設のほか、本学学部に附属の教育研究施設を置くことができる。

3 前二項の各附属施設に関する規程は別に定める。

第 1 2 章 科目等履修生、特別聴講学生、委託生及び外国人留学生

第 4 0 条 本学所定の授業科目のうち、1 科目又は数科目を選んで履修を希望する者があるときは、授業及び研究に支障のない限り選考の上、科目等履修生として履修を許可することができる。

2 科目等履修生には、第 1 1 条の規定を準用して単位を与えることができる。

3 科目等履修生に関する規程は別に定める。

第 4 0 条の 2 国内外の大学又は短期大学との単位互換協定に基づき、本学の授業科目の一部の履修を希望する者があるときは、特別聴講学生として履修を許可することができる。

2 特別聴講学生には、第 1 1 条の規定を準用して単位を与えることができる。

3 特別聴講学生に関する規程は、別に定める。

第 4 1 条 国内外の公共機関等から、その所属職員について研究事項を定め、研修について委託の願い出があるときは、授業及び研究に支障のない限り選考の上、委託生として研修を許可することができる。

2 委託生に関する規程は別に定める。

第 4 2 条 科目等履修生、特別聴講学生及び委託生については、別段の定めのあるものを除くほか、学部学生に関する規定を準用する。

第 4 3 条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者については、外国人留学生として入学を許可することができる。

2 前項の規定により外国人留学生として入学を許可される者は、出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）別表第一に定める「留学」の在留資格を有する者又は入学後に取得

できる者で、選考の上入学を許可された者とする。

- 3 第1項の規定により入学を志願する者に対しては、当該学部において、履歴、人物、健康等について選考するほか、修学に必要な日本語及び学力について筆記、口述その他適当な方法によって選考を行う。
- 4 外国人留学生に関する規程は別に定める。

第13章 地域貢献等

第44条 地域貢献等については別に定める。

第14章 学年、学期及び休業

第45条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第46条 学年を分けて、次の二期とする。

前期 4月1日から9月14日まで

後期 9月15日から翌年3月31日まで

- 2 第1項の規定にかかわらず、必要に応じて前期終了日及び後期開始日を変更することができる。

第47条 学年中の定期休業日を次のとおり定める。

一 学年末休業 3月21日から3月31日まで

二 夏季休業 8月1日から9月14日まで

三 冬季休業 12月22日から翌年1月6日まで

四 学校記念日 11月20日

五 日曜日

六 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

- 2 前項各号に定める定期休業日でも授業等を課し、又は特別講義を聴講させることがある。
- 3 第1項の規定にかかわらず、第1号から第3号までの休業期間を変更し、又は臨時に休業日を定めることができる。

附 則

この学則は、昭和48年4月1日から施行する。

ただし、学則第4条別表（1）に規定する児童学科の授業科目については、昭和47年4月の入学生から適用する。それ以前の在學生については旧規程による。

附 則

この学則は、昭和48年4月1日から施行する。ただし、昭和48年度に管理栄養士専攻に入学した学生の履修方法、単位数については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、昭和50年4月1日から施行する。ただし、第24条については昭和50年度の入学生から適用する。

附 則

この学則は、昭和51年4月1日から施行する。ただし、第24条については、昭和51年度の入学生から適用する。

附 則

この学則は、昭和52年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和53年4月1日から施行する。ただし、第24条第1項第1号及び第2号は、昭和53年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、昭和54年4月1日から施行する。ただし、第24条第1項第1号及び第3号は、昭和54年度入学者から適用し、同条同項第4号については、昭和54年度入学志願者から適用する。

附 則

この学則は、昭和55年4月1日から施行する。ただし、第25条第1項第1号及び第3号は、昭和55年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、昭和56年4月1日から施行する。ただし、第25条第1項第1号及び第3号は、昭和56年度入学者から適用し、同条同項第4号については、昭和56年度入学志願者から適用する。

附 則

この学則は、昭和57年4月1日から施行する。ただし、第26条第1項第1号については、昭和57年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、昭和58年4月1日から施行する。ただし、第7条第2項及び第26条第1項第1号については、昭和58年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、昭和59年4月1日から施行する。ただし、第26条第1項第1号については、昭和59年度入学者から適用し、同条同項第4号については、昭和59年度入学志願者から適用する。

附 則

この学則は、昭和60年4月1日から施行する。ただし、第26条第1項第1号については、昭和60年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、昭和61年4月1日から施行する。ただし、第26条第1項第4号については、昭和61年度入学志願者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、昭和62年4月1日から施行する。ただし、この規定の施行の際昭和61年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項に規定する別表（1）一般教育科目（自然分野）及び家政学部食物学科管理栄養士専攻の授業科目に関しては、なお従前の例による。
- 2 第26条第2号については、昭和62年度入学者から適用し、同条第5号については、昭和62年度入学志願者から適用する。

附 則

この学則は、昭和63年4月1日から施行する。ただし、第26条第2号については、昭和63年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成元年4月27日から施行し4月1日から適用する。ただし、この学則の施行

の際、昭和63年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項の規定による別表（1）の授業科目に関しては、なお、従前の例による。

- 2 第5条第1項及び第7条第1項については、平成元年度入学者から適用する。
- 3 第26条第2号及び第4号については、平成元年度入学者から適用する。ただし、第26条第2号の規定にかかわらず、昭和62年度入学者については、20,600円とし、昭和63年度入学者については41,200円とする。
- 4 第26条第3号については、平成元年3月31日までに入学を許可された者は、なお、従前の例による。
- 5 第26条第5号については、平成元年度入学志願者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成2年4月1日から施行する。ただし、この学則施行の際、平成元年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項の規定による別表（1）、別表（2）及び別表（5）の授業科目に関しては、なお、従前の例による。
- 2 第26条第3号については、平成2年度入学者から適用する。
- 3 第26条第4号の規定にかかわらず昭和62年度入学者に係る教育充実費は20,000円、昭和63年度入学者については40,000円、平成元年度入学者については60,000円とする。又、昭和61年度以前の入学者については徴収しない。

附 則

- 1 この学則は、平成3年4月1日から施行する。ただし、この学則施行の際、平成2年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項の規定による別表（1）の授業科目に関しては、なお、従前の例による。
- 2 第26条第4号については、平成3年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、平成3年9月24日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成4年4月1日から施行する。ただし、この学則施行の際、平成3年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項の規定による別表（1）の1の授業科目に関しては、なお、従前の例による。
- 2 第26条第2号の規定は、平成3年10月1日から適用する。
- 3 第26条第4号の規定は、平成4年度の入学者から適用する。
- 4 第38条に規定する収容定員は、平成14年度までの間は、次のとおりとする。

社会情報学部

年 度	平成4年度		平成5年度		平成6年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
専 攻						
社会生活情報学専攻	100	100	100	200	100	300
社会環境情報学専攻	100	100	100	200	100	300
社会情報処理学専攻	100	100	100	200	100	300
計	300	300	300	600	300	900

平成7年度から 平成11年度まで		平成12年度		平成13年度		平成14年度	
入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
100	400	60	360	60	320	60	280
100	400	60	360	60	320	60	280
100	400	80	380	80	360	80	340
300	1200	200	1100	200	1000	200	900

附 則（平成4年12月18日、大妻女子大学学則等の一部を改正する規則）

- 1 この規則は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の短期大学部学則施行の際、平成4年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項の規定による別表（1）の1、（1）の2の授業科目及び第7条第1項の表の一般教育科目の履修に関しては、なお、従前の例による。
- 3 この規則による改正後の大妻女子大学学則第26条第4号、大妻女子大学大学院学則第47条第4号及び大妻女子大学短期大学部学則第26条第4号に定める教育充実費は、平成5年度の入学者から適用する。

附 則（平成6年1月27日、大妻女子大学学則等の一部を改正する規則）

- 1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成5年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項の別表（1）の1の授業科目に関しては、なお、従前の例による。
- 4 この規則による改正後の大妻女子大学学則第26条第1号に定める入学検定料は、平成6年度志願者から適用する。
- 5 この規則による改正後の大妻女子大学学則第26条第4号に定める教育充実費は、平成6年度の入学者から適用する。

附 則（平成7年2月1日、大妻女子大学学則等の一部を改正する規則）

- 1 この規則は、平成7年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成6年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項の別表（1）の1の授業科目に関しては、なお、従前の例による。
- 3 この規則による改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成6年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第7条の履修方法及び卒業必要単位数に関しては、なお、従前の例による。
- 4 この規則による改正後の大妻女子大学学則第26条第3号及び第4号に定める授業料、教育充実費は、平成7年度の入学者から適用する。

附 則（平成8年2月1日、大妻女子大学学則等の一部を改正する規則）

- 1 この規則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の大妻女子大学学則第26条第1号に定める入学検定料は、平成8年度志願者から適用する。
- 3 この規則による改正後の大妻女子大学学則第26条第2号から第4号に定める入学金、授業料及び教育充実費は、平成8年度の入学者から適用する。

附 則（平成8年10月28日、大妻女子大学学則等の一部を改正する規則）

- 1 この規則による改正後の学則は、平成9年4月1日から施行する。

2 この規則による改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成8年度以前に入学し、現に在学する学生に係る第4条第1項の別表(1)の1の授業科目に関しては、なお、従前の例による。

3 この規則による改正後の大妻女子大学学則第26条第3号及び第4号に定める授業料及び教育充実費は、平成9年度の入学者から適用する。

附 則(平成9年1月30日、大妻女子大学学則等の一部を改正する規則)

この規則による改正後の学則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成9年11月4日、大妻女子大学学則等の一部を改正する規則)

1 この規則による改正後の学則は、平成10年4月1日から施行する。

2 この規則による改正後の大妻女子大学学則第3条第1項に定める「文学部日本文学科」の名称については、平成10年度の1年次から適用する。

3 この規則による改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成9年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項の規定による別表(1)の1、別表(1)の2の授業科目については、なお、従前の例による。

4 この規則による改正後の大妻女子大学学則第26条第3号及び第4号に定める授業料及び教育充実費は、平成10年度の入学者から適用する。

附 則(平成11年1月29日、大妻女子大学学則等の一部を改正する規則)

1 この規則による改正後の学則は、平成11年4月1日から施行する。

2 この規則による改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成10年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項の規定による別表(1)の1及び別表(1)の2の授業科目に関しては、なお、従前の例による。

3 この規則による改正後の大妻女子大学学則第26条第3号及び第4号に定める授業料及び教育充実費は、平成11年度の入学者から適用する。

4 第38条に規定する人間関係学部及び比較文化学部の収容定員は、平成13年度までの間は、次のとおりとする。

人間関係学部

年 度 学科等	平成11年度		平成12年度		平成13年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
人間関係学科						
社会学専攻	75	75	75	150	75	225
社会心理学専攻	75	75	75	150	75	225
人間福祉学科						
人間福祉学専攻	70	70	70	140	70	210
介護福祉学専攻	30	30	30	60	30	90
計	250	250	250	500	250	750

比較文化学部

年 度 学科等	平成11年度		平成12年度		平成13年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
比較文化学科	150	150	150	300	150	450
計	150	150	150	300	150	450

5 平成4年4月1日施行の学則附則第4項に規定された社会情報学部の期間を付した入学定員については平成10年度末をもって廃止とする。

附 則

- 1 改正後の学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成11年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表(1)の1、別表(1)の2、別表(2)の授業科目及び第7条に規定する卒業のための最低履修単位数に関しては、なお、従前の例による。
- 3 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成11年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第9条に定める教員免許状の教科については、なお、従前の例による。
- 4 改正後の大妻女子大学学則第26条第3号及び第4号に定める授業料及び教育充実費は、平成12年度の入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成12年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表(1)の1、別表(1)の2及び別表(2)の授業科目に関しては、なお、従前の例による。
- 3 改正後の大妻女子大学学則第9条に定める教科のうち情報及び福祉については、平成12年度に入学した者が、この学則の施行日以後に当該教科及び教職に係る改正後の別表(1)の2及び別表(2)の授業科目を履修し、当該教員免許状取得に係る所用資格を得ることができる。
- 4 改正後の大妻女子大学学則第26条第4号に定める教育充実費は、平成13年度の入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 第38条に規定する家政学部児童学科児童学専攻及び児童教育専攻の収容定員は、平成14年度から平成16年度までの間は、次のとおりとする。

年 度 学科等	平成14年度		平成15年度		平成16年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
家政学部児童学科						
児童学専攻	50	170	50	180	50	190
児童教育専攻	50	230	50	220	50	210
児童学科 計	100	400	100	400	100	400

附 則

- 1 この学則は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成13年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項の規定による別表(1)の1の授業科目に関しては、なお、従前の例による。
- 3 改正後の大妻女子大学学則第26条第3項に定める授業料は、平成14年度の入学者から適用する。
- 4 改正後の大妻女子大学学則第38条に規定する家政学部ライフデザイン学科及び文学部コミュニケーション文化学科の収容定員は、平成14年度から平成16年度までの間は、次のとお

りとする。

学科等	平成14年度		平成15年度		平成16年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
家政学部 ライフデザイン学科	100	100	100	200	100	300
文学部 コミュニケーション文化学科	100	100	100	200	100	300

附 則

- 1 この学則は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成14年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（1）の2の授業科目及び第7条第2項に関しては、なお、従前の例による。
- 3 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成13年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（5）の授業科目に関しては、なお、従前の例による。
- 4 改正後の大妻女子大学学則第26条第3号に定める授業料は、平成15年度の入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成15年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項の規定による別表（1）の1及び（1）の2の授業科目に関しては、なお、従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成16年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（1）の2の授業科目に関しては、なお、従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成17年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（1）の1、別表（1）の2及び別表（2）の授業科目に関しては、なお、従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成18年10月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則第7条第1項に定める卒業のための最低履修単位数は平成18年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成18年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（1）の1及び別表（1）の2の授業科目、第6条、第7条第2項、第10条第2項、第11条第3項及び第12条ただし書きに関しては、なお、従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成19年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（1）の1、別表（1）の2及び別表（2）の授業科目に関しては、なお、従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則第3条第1項に定める「社会情報学部社会情報学科環境情報学専攻」、「社会情報学部社会情報学科情報デザイン専攻」、「人間関係学部人間関係学科社会・臨床心理学専攻」の名称については、平成21年度の1年次から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成20年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（1）の1、別表（1）の2、別表（2）及び別表（5）の授業科目、第7条第1項並びに第9条に関しては、なお、従前の例による。
- 3 改正後の大妻女子大学学則施行の際、現に在学中であり、平成23年度以前に卒業する者に係る第8条第10項に関しては、なお、従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成21年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（1）（但し、「小学校外国語活動の研究」を除く）、別表（2）及び別表（5）の授業科目並びに第7条に関しては、なお、従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成22年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（1）及び別表（2）の授業科目に関しては、なお、従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成23年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（1）、別表（3）、別表（4）及び別表（5）の授業科目に関しては、なお、従前の例による。

附 則

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則第38条第1項に規定する家政学部（食物学科及び児童学科児童学専攻を除く。）、文学部、社会情報学部、人間関係学部（人間福祉学科介護福祉学専攻を除く。）及び比較文化学部の学生定員は、平成25年度に限り次のとおりとする。

学科等	入学定員	編入学定員	収容定員
-----	------	-------	------

		(3年次)		
家政学部				
被服学科		100名	10名	410名
児童学科	児童教育専攻	50名	5名	205名
ライフデザイン学科		100名	10名	410名
文学部				
日本文学科		100名	10名	410名
英文学科		100名	10名	410名
コミュニケーション文化学科		100名	10名	410名
社会情報学部				
社会情報学科	社会生活情報学専攻	100名	10名	410名
	環境情報学専攻	100名	10名	410名
	情報デザイン専攻	100名	10名	410名
人間関係学部				
人間関係学科	社会学専攻	75名	10名	310名
	社会・臨床心理学専攻	75名	10名	310名
人間福祉学科	人間福祉学専攻	70名	10名	290名
比較文化学部				
比較文化学科		150名	15名	615名

附 則

- この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成24年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表(1)の授業科目及び第7条第1項に関しては、なお、従前の例による。

附 則

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

- この学則は、平成26年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成25年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表(1)(但し、全学共通科目の「国際理解科目」を除く)の授業科目及び第7条第1項に関しては、なお、従前の例による。

附 則

- この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成26年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表(1)の授業科目に関しては、なお、従前の例による。
- 改正後の大妻女子大学学則第38条第1項に規定する家政学部食物学科食物学専攻の学生定員は、平成27年度から平成29年度までの間は、次のとおりとする。

年 度	平成27年度	平成28年度

学科等	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
	家政学部食物学科 食物学専攻	80名	—	230名	80名	—

平成29年度		
入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
80名	—	290名

4 改正後の大妻女子大学学則第38条第2項に規定する家政学部食物学科食物学専攻の学級数の合計は、平成27年度に限り5学級、平成28年度に限り6学級、平成29年度に限り7学級とする。

附 則

- この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成26年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表(1)の授業科目に関しては、なお、従前の例による。

附 則

- この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成27年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表(1)の授業科目に関しては、なお、従前の例による。
- 改正後の大妻女子大学学則第26条第1項第3号に定める授業料及び第4号に定める教育充実費は、平成28年度の入学者から適用する。

附 則

- この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成27年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表(1)及び別表(2)の授業科目に関しては、なお、従前の例による。但し、改正後の大妻女子大学学則第4条の規定による別表(1)の授業科目のうち、「スポーツパフォーマンス論」、「健康スポーツ実技」については、平成27年度の入学者から適用する。

附 則

- この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則第38条第1項に規定する家政学部(食物学科及び児童学科児童学専攻を除く。)、文学部及び比較文化学部の学生定員は、平成29年度から平成31年度までの間は、次のとおりとする。

年 度	平成29年度	平成30年度

学科等	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
家政学部						
被服学科	110名	10名	430名	110名	10名	440名
児童学科						
児童教育専攻	60名	5名	220名	60名	5名	230名
ライフデザイン学科	120名	10名	440名	120名	10名	460名
文学部						
日本文学科	120名	10名	440名	120名	10名	460名
英文学科	120名	10名	440名	120名	10名	460名
コミュニケーション文化学科	120名	10名	440名	120名	10名	460名
比較文化学部						
比較文化学科	165名	15名	645名	165名	15名	660名

平成31年度		
入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
110名	10名	450名
60名	5名	240名
120名	10名	480名
120名	10名	480名
120名	10名	480名
120名	10名	480名
165名	15名	675名

附 則

- この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則第26条第1項第2号に定める入学金、第3号に定める授業料及び第4号に定める教育充実費は、平成29年度の入学者から適用する。

附 則

- この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成28年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表(1)の授業科目に関しては、なお、従前の例による。但し、改正後の大妻女子大学学則第4条の規定による別表(1)の授業科目のうち、「運動障害と予防・救急処置(含実習)」、「健康運動実践指導論」、「体力測定と評価」については、平成27年度の入

学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則第38条第1項に規定する人間関係学部人間福祉学科の学生定員は、平成30年度から平成32年度までの間は、次のとおりとする。

年 度 学科等	平成30年度			平成31年度		
	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
人間関係学部 人間福祉学科	100名	—	100名	100名	—	200名

平成32年度		
入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
100名	10名	310名

- 3 人間関係学部人間福祉学科人間福祉学専攻及び介護福祉学専攻は、改正後の大妻女子大学学則第3条第1項及び第38条第1項の規定にかかわらず、平成30年3月31日に当該専攻に在学する者が、当該専攻に在学しなくなる日までの間存続するものとし、その者に係る授業科目、卒業のための最低修得単位数、他学部履修、教員免許状、学級数に関しては、なお、従前の例によるものとする。

附 則

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成29年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表(1)の授業科目及び第8条に関しては、なお、従前の例による。但し、改正後の大妻女子大学学則第4条の規定による別表(1)の授業科目のうち、「建築法規と都市デザイン」については、平成29年度の入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成29年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表(1)の授業科目に関しては、なお、従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則第3条第1項に定める「文学部英語英文学科」の名称については、平成31年度の1年次から適用する。
- 3 改正後の大妻女子大学学則第38条第1項に定める家政学部児童学科の学生定員は、平成3

1 年度から平成 3 3 年度までの間は、次のとおりとする。

年 度 学科等	平成 3 1 年度			平成 3 2 年度		
	入学定員	編入学定員 (3 年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3 年次)	収容定員
家政学部児童学科						
児童学専攻	80 名	—	230 名	80 名	—	260 名
児童教育専攻	50 名	5 名	230 名	50 名	5 名	230 名

平成 3 3 年度		
入学定員	編入学定員 (3 年次)	収容定員
80 名	—	290 名
50 名	5 名	220 名

- 4 改正後の大妻女子大学学則第 3 8 条第 1 項に定める家政学部（食物学科及び児童学科を除く。）、文学部、社会情報学部及び比較文化学部の学生定員は、平成 3 1 年度に限り、次のとおりとする。

学科等	入学定員	編入学定員 (3 年次)	収容定員
家政学部			
被服学科	110 名	7 名	447 名
ライフデザイン学科	120 名	7 名	477 名
文学部			
日本文学科	120 名	7 名	477 名
英語英文学科	120 名	7 名	477 名
コミュニケーション文化学科	120 名	7 名	477 名
社会情報学部			
社会情報学科 社会生活情報学専攻	100 名	5 名	415 名
環境情報学専攻	100 名	5 名	415 名
情報デザイン専攻	100 名	5 名	415 名
比較文化学部			
比較文化学科	165 名	5 名	665 名

- 5 改正後の大妻女子大学学則第 3 8 条第 2 項に定める家政学部児童学科児童学専攻の学級数の合計は、平成 3 1 年度に限り 5 学級、平成 3 2 年度に限り 6 学級、平成 3 3 年度に限り 7 学級

とする。

附 則

- 1 この学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成30年度に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表(1)(但し、全学共通科目の「地域文化理解Ⅰ」、「地域文化理解Ⅱ」及び「地域文化理解Ⅲ」並びに社会情報学部社会情報学科社会生活情報学専攻専門教育科目の「アルゴリズム論及び演習Ⅰ」、「アルゴリズム論及び演習Ⅱ」、「情報システム論及び実習Ⅰ」、「情報システム論及び実習Ⅱ」、「情報ネットワーク論及び実習Ⅰ」及び「情報ネットワーク論及び実習Ⅱ」を除く)及び別表(2)の授業科目、第7条第1項並びに第9条第1項に関しては、なお、従前の例による。
- 3 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成29年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表(1)(但し、全学共通科目の「地域文化理解Ⅰ」、「地域文化理解Ⅱ」及び「地域文化理解Ⅲ」を除く)及び別表(2)の授業科目、第7条第1項並びに第9条第1項に関しては、なお、従前の例による。

附 則

この学則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則第38条第1項に定める人間関係学部人間関係学科の学生定員は、令和2年度から令和4年度までの間は、次のとおりとする。

年 度 学科等	令和2年度			令和3年度		
	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
人間関係学部						
人間関係学科						
社会学専攻	80名	4名	319名	80名	4名	318名
社会・臨床心理学専攻	80名	4名	319名	80名	4名	318名

令和4年度		
入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
80名	4名	323名
80名	4名	323名

- 3 改正後の大妻女子大学学則第38条第1項に定める人間関係学部人間福祉学科の学生定員は、令和2年度に限り、次のとおりとする。

学科等	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
人間関係学部 人間福祉学科	100名	2名	412名

附 則

この学則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

- この学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則施行の際、令和元年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表(1)(但し、人間関係学部人間関係学科社会学専攻専門教育科目の「ビジネス英語」、「英語コミュニケーション」、「専門特殊講義」、社会・臨床心理学専攻専門教育科目の「Business English」、「English Communication」及び人間福祉学科専門教育科目の「ビジネス英語」、「英語コミュニケーション」を除く)の授業科目及び第9条第1項に関しては、なお、従前の例による。但し、全学共通科目外国語科目の人間関係学部に係る「備考」欄に関しては、平成30年度入学者から適用する。
- 改正後の大妻女子大学学則施行の際、令和元年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第7条第1項に関しては、なお、従前の例による。但し、第7条第1項の規定による卒業のための最低修得単位数のうち、平成31年度及び令和元年度に家政学部児童学科児童教育専攻に入学した者に係る専門教育科目については、126単位とする。

附 則

- この学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則施行の際、令和元年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表(1)の授業科目に関しては、なお、従前の例による。

附 則

- この学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則施行の際、令和2年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第16条及び第17条に関しては、なお、従前の例による。

附 則

- この学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則施行の際、令和2年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表(1)の授業科目に関しては、なお、従前の例による。

附 則

- この学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則第26条第1項第1号及び第7号に関しては、令和2年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、令和3年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（1）の授業科目に関しては、なお、従前の例による。
- 3 改正後の大妻女子大学学則施行の際、令和元年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（2）の授業科目に関しては、なお、従前の例による。

附 則（令和5年1月27日 理事会）

- 1 この学則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、令和4年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第2項、第4条の規定による別表（1）（但し、全学共通科目の「外国語特殊演習」、人間関係学部専門教育科目の「Malaysian Cultural Camp I」及び「Malaysian Cultural Camp II」を除く）、（3）、（4）及び（5）並びに第8条第6項に関しては、なお、従前の例による。

附 則（令和5年3月27日 理事会）

この学則は、令和5年4月1日から施行する。

附 則（令和5年5月29日 理事会）

- 1 この学則は、令和5年5月29日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則第26条第1項第7号に関しては、令和5年4月1日から適用する。

附 則（令和6年1月26日 理事会）

- 1 この学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、令和5年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（1）の授業科目に関しては、なお、従前の例による。但し、改正後の大妻女子大学学則第4条の規定による別表（1）の授業科目のうち、「ライフデザインの思想と実践」、「家庭機械及び家庭電気」、「生活情報処理」については、令和5年度の入学者から適用する。
- 3 改正後の大妻女子大学学則施行の際、令和5年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第7条第1項に関しては、なお、従前の例による。
- 4 改正後の大妻女子大学学則第26条第1項第4号に定める教育充実費は、令和6年度の入学者から適用する。但し、第26条第1項第4号の規定にかかわらず、令和6年度の編入学者については、なお、従前の例による。

別表(1)

授 業 科 目	授業形態	単位数		備 考
		必修	選択	
〔全学共通科目〕				
基礎科目				
(女性とキャンパスライフ)				
大 妻 教 養 講 座	講 義	1		
大 妻 教 養 講 座 II 卒 業 生 か ら 学 ぶ	講 義		1	
キ ャ ン パ ス ラ イ フ と メ ン タ ル ヘ ル ス	講 義		2	
女 性 と 健 康	講 義		2	
ジ ョ ン ダ ー と 社 会 生 活	講 義		2	
女 性 史	講 義		2	
リ ー ダ ー シ ッ プ 開 発	演 習		2	
(リテラシー)				
日 本 語 A (文 章 表 現)	講 義		2	英語英文学科、コミュニケーション文化学科のみ必修
日 本 語 B (口 頭 表 現)	講 義		2	
日 本 語 C (読 解)	講 義		2	
コ ン ピ ュ ー タ 基 礎 A	演 習		2	比較文化学部のみ必修
コ ン ピ ュ ー タ 基 礎 B	演 習		2	比較文化学部のみ必修
コ ン ピ ュ ー タ 応 用	演 習		2	
デ ー タ サ イ エ ン ス ・ A I 概 論	講 義		2	
(キャリア)				
キ ャ リ ア デ ザ イ ン I	講 義		2	
キ ャ リ ア デ ザ イ ン II	講 義		2	
キ ャ リ ア デ ザ イ ン III	講 義		2	
キ ャ リ ア ・ デ ィ ベ ロ ッ プ メ ン ト ・ プ ロ グ ラ ム I	演 習		2	
キ ャ リ ア ・ デ ィ ベ ロ ッ プ メ ン ト ・ プ ロ グ ラ ム II	演 習		2	
教養科目				
(人間と文化)				
文 学 の 世 界	講 義		2	
音 楽 の 世 界	講 義		2	
美 術 の 世 界	講 義		2	
映 像 ・ 演 劇 の 世 界	講 義		2	
考 古 学 の 世 界	講 義		2	
ポ ビ ュ ラ ー ・ カ ル チ ャ ー の 世 界	講 義		2	
地 域 と 文 化	講 義		2	
言 語 と 文 化	講 義		2	
日 本 の 歴 史 と 文 化	講 義		2	
世 界 の 歴 史 と 文 化	講 義		2	
哲 学 と 思 想	講 義		2	
日 本 文 化 ・ 事 情	講 義		2	外国人留学生優先
(社会と生活)				
子 ど も の 世 界	講 義		2	
人 間 の 成 長 と 心 理	講 義		2	
日 本 国 憲 法	講 義		2	
法 律 と 現 代 社 会	講 義		2	
政 治 と 現 代 社 会	講 義		2	
経 済 と 現 代 社 会	講 義		2	
メ デ イ ア と 現 代 社 会	講 義		2	
家 族 と 現 代 社 会	講 義		2	
福 祉 と 現 代 社 会 (ボ ラ ン テ ィ ア を 含 む)	講 義		2	
S D G s と 現 代 社 会	講 義		2	
(自然と科学)				
数 学 の 世 界	講 義		2	

生	活	の	物	理	講	義	2	
生	活	の	化	学	講	義	2	
科	学	と	環	境	講	義	2	
生	命	の	科	学	講	義	2	
字	宙	の	科	学	講	義	2	
人	類	の	進	化	講	義	2	
自	然	科	の	歴	講	義	2	
(スポーツ)								
ス	ポ	ー	ツ	A	実	技	1	
ス	ポ	ー	ツ	B	実	技	1	
ス	ポ	ー	ツ	C	実	技	1	
ス	ポ	ー	ツ	D	実	技	1	
シ	ー	ズ	ン	・	ス	ポ	ー	1
ス	ポ	ー	ツ	と	健	ン	2	
レ	ク	リ	エ	ー	シ	ョ	ン	2
レ	ク	リ	エ	ー	シ	ョ	ン	1
(教養特殊講義)								
教	養	特	殊	講	義	講	義	2
外国語科目								内容が異なる場合は複数回の履修を認める。
英	語		I	A	演	習	1	
英	語		I	B	演	習	1	
英	語		I	C	演	習	1	英語英文学科・コミュニケーション文化学科・社会情報学部・人間関係学部・比較文化学部のみ必修
英	語		I	D	演	習	1	
英	語		II	A	演	習	1	英語英文学科・社会情報学部・比較文化学部のみ必修
英	語		II	B	演	習	1	
英	語		II	C	演	習	1	比較文化学部のみ必修
英	語		II	D	演	習	1	
英	語		III	A	演	習	1	
英	語		III	B	演	習	1	
フ	ラ	ン	ス	語	I	演	習	1
フ	ラ	ン	ス	語	II	演	習	1
フ	ラ	ン	ス	語	III	演	習	1
フ	ラ	ン	ス	語	IV	演	習	1
ド	イ	ツ	語	I	演	習	1	
ド	イ	ツ	語	II	演	習	1	
ド	イ	ツ	語	III	演	習	1	
ド	イ	ツ	語	IV	演	習	1	
ス	ペ	イ	ン	語	I	演	習	1
ス	ペ	イ	ン	語	II	演	習	1
ス	ペ	イ	ン	語	III	演	習	1
ス	ペ	イ	ン	語	IV	演	習	1
ロ	シ	ア	語	I	演	習	1	
ロ	シ	ア	語	II	演	習	1	
ロ	シ	ア	語	III	演	習	1	
ロ	シ	ア	語	IV	演	習	1	
中		語	語	I	演	習	1	
中	国	語	語	II	演	習	1	
中	国	語	語	III	演	習	1	
中	国	語	語	IV	演	習	1	
韓	国	語	語	I	演	習	1	
韓	国	語	語	II	演	習	1	
韓	国	語	語	III	演	習	1	
韓	国	語	語	IV	演	習	1	
日	本	語	語	I	演	習	1	外国人留学生対象
日	本	語	語	II	演	習	1	外国人留学生対象

日 本 語	III	演 習	1	外国人留学生対象
日 本 語	IV	演 習	1	外国人留学生対象
外 国 語 特 殊 演	習	演 習	1又は2	内容が異なる場合は複数回の履修を認める。
地域文化・国際理解科目				
地 域 文 化 理 解	I	演 習	2	
地 域 文 化 理 解	II	演 習	2	
地 域 文 化 理 解	III	演 習	2	
国 際 理 解 (海 外 研 修)	I	演 習	2	
国 際 理 解 (海 外 研 修)	II	演 習	2	
国 際 理 解 (海 外 研 修)	III	演 習	2	
国 際 理 解 (海 外 研 修)	IV	演 習	1	
国 際 理 解 (海 外 研 修)	V	演 習	1	
家 政 学 部				
被 服 学 科				
〔 専 門 教 育 科 目 〕				
共 通 専 門 科 目				
家 庭 経 営 学 概 論 (含 家 庭 経 済 学)		講 義	2	
家 族 関 係 論		講 義	2	
住 居 学 概 論		講 義	2	
食 物 学 概 論		講 義	2	
児 童 学 概 論		講 義	2	
環 境 科 学 概 論		講 義	2	
ラ イ フ デ ザ イ ン 学 概 論		講 義	2	
素 材 ・ 材 料 領 域				
衣 生 活 と 化 学		講 義	2	
被 服 材 料 学 実 験		講 義	2	
被 服 材 料 学 実 験		講 義	2	
被 服 管 理 学 実 験		講 義	2	
界 面 科 学 実 験		講 義	2	
織 維 科 学 講 義		講 義	2	
染 色 加 工 学 講 義		講 義	2	
機 能 性 被 服 材 料 学 講 義		講 義	2	
織 維 製 品 消 費 科 学 講 義		講 義	2	
工 芸 染 色 実 習		実 習	2	
イ ン テ リ ア 材 料 学 講 義		講 義	2	
織 維 科 学 実 験		実 験	2	
品 質 管 理 講 義		講 義	2	
テ キ ス タ イ ル 分 析 実 験		実 験	2	
衣 環 境 学 講 義		講 義	2	
ケ ー ス ス テ デ ィ 講 義		講 義	2	
服 飾 造 形 領 域				
和 服 製 作 実 習	I	実 習	2	
ア パ レ ル 製 作 実 習	I	実 習	2	
被 服 体 型 学 講 義	学	講 義	2	
被 服 飾 工 芸 実 習	芸	実 習	2	
被 服 飾 構 成 学 講 義	学	講 義	2	
パ タ ー ン 設 計 演 習	計	演 習	2	
和 服 製 作 実 習	II	実 習	2	
和 服 製 作 実 習	III	実 習	2	
ア パ レ ル 製 作 実 習	II	実 習	2	
立 体 裁 断 実 習	断	実 習	2	

パターンのデザイン	実習	2	
アパレルCAD	演習	2	
情報・生産領域			
ファッショントラッキング	講義	2	
アパレル企画I	講義	2	
アパレル企画II	演習	2	
消費生活論	講義	2	
消費者調査法	講義	2	
アパレル設計・生産I	講義	2	
アパレル設計・生産II	実習	2	
テキスタイルアドバイザー実習	実習	1	
ビジネス領域			
ファッショントラッキング	講義	2	
ファッションマーケティングI	講義	2	
ファッション販売論	講義	2	
グローバルコミュニケーション	講義	2	
ファッションインス論	講義	2	
ファッションマーケティングII	演習	2	
ブランドマネジメント	講義	2	
流通マネジメント論	講義	2	
ファッションリテリリング	講義	2	
コンプライアンス論	講義	2	
ビジュアル・マーチャンダイジング	演習	2	
Eコマース論	講義	2	
グローバルマネジメント	講義	2	
マーケティングコミュニケーション	講義	2	
WEBマーケティング	講義	2	
インターンシップ実習	実習	1	
ビジュアルコミュニケーション領域			
色彩学	講義	2	
基礎デザイン	講義	2	
ファッショントラッキング	演習	2	
コンピューターグラフィックスI	演習	2	
コンピューターグラフィックスII	演習	2	
ファッショントラッキング	講義	2	
プロダクトデザイン	演習	2	
スペーシング	講義	2	
カルチャー領域			
西洋服飾文化史	講義	2	
日本服飾文化史	講義	2	
衣生活文化論	講義	2	
被服心理学	講義	2	
ポップカルチャーと衣服	講義	2	
ファッショントラッキング	講義	2	
服飾美学	講義	2	
ファッションメデИА論	講義	2	
ファッションコーディネート論	講義	2	
世界のファッション	講義	2	
舞台衣装論	講義	2	
伝統文化論	講義	2	
エンターテインメント論	講義	2	

ア	パ	レ	ル	概	論	講義	2		
卒		業	研		究	—	6		
創		成	工		房	演習		2	
ゼ	ミ	ナ	—	ル	I	演習		2	
総	合	ゼ	ミ	ナ	—	ル		2	
ゼ	ミ	ナ	—	ル	II	演習		2	
教職課程科目 (家庭)									
食	品		学	概	論	講義		2	
栄	養		学	概	論	講義		2	
保	育	学	(含 実 習 及 び 家 庭 看 護)			講義		2	
調	理		学	実	習	講義・実習		2	
製	図	及	び	家	庭	工	作	学	講義
									2
〔自由科目〕									
(社会体験実習)									
企	業	等	体	験	実	習	—		1又は2
食物学科									
食物学専攻									
〔専門教育科目〕									
共通専門科目									
家	庭	経	営	学	概	論	(含 家 庭 経 済 学)	講義	2
家	族		関	係	論	講義		2	
住	居		学	概	論	講義		2	
被	服		学	概	論	講義		2	
児	童		学	概	論	講義		2	
環	境	科	学	概	論	講義		2	
ラ	イ	フ	デ	ザ	イ	ン	学	概	論
									2
社会生活と健康									
社	会		福	祉	論	講義		2	
公	衆		衛	生	学	講義		2	
生	活	環	境	学	実	験		1	
人体の構造と機能									
疾	病	の	成	り	立	ち	I	講義	2
生			化				学	講義	2
生			理				学	講義	2
人	体	構	造	機	能	論	講義	2	
人	体	構	造	機	能	論	実	験	1
食品と衛生									
食	品		化		学	講義		2	
食	品		化	学	実	験		1	
食			品		学	講義		2	
食	品		学	実	験	実		1	
食	安		全	学	I	講義		2	
食	安		全	学	実	験		1	
栄養と健康									
基	礎		栄	養	学	I	講義	2	
基	礎		栄	養	学	II	講義	2	
栄	養		化	学	I	講義		2	
栄	養		化	学	実	験		1	
応	用		栄	養	学	講義		2	
応	用		栄	養	学	実	習	1	

病	態	栄	養	学	学	講	義	2	
臨	床	栄	養	学	学	講	義		2
臨	床	栄	養	学	実	実	習		1
栄	の	指	導	事	設	計	論	講	義
食	の	事	設	計	論	実	習	実	習
食	事	設	計	論	実	習	I	講	義
栄	養	教	育	論	実	習	II	講	義
栄	養	教	育	論	実	習	I	実	習
栄	養	教	育	論	実	習	II	実	習
公	衆	栄	養	学	学	講	義		2
給	の	運	營						
給	食	管	理	論	I	講	義		2
給	食	管	理	論	II	講	義		2
給	食	管	理	実	I	実	習		1
給	食	管	理	実	II	実	習		1
調	理	科	学	学	I	講	義		2
基	礎	調	理	学	学	実	習	実	習
調	理	学	学	実	習	実	習		1
校	外	実	習	指	導	演	習		1
校	外	実	習	指	導	演	習		1
栄	養	士	概	論	講	義		2	
食	物	学	演	文	演	習		2	
卒	業	論	文	文	I	-		2	
卒	業	論	文	物	II	-		2	
基	礎	生	学	学	学	講	義		2
化		学	学	学	I	講	義		2
化		学	学	学	II	講	義		2
実	践	統	計	論	学	演	習		2
ス	ポ	一	ツ	栄	養	論	実	習	1
フ	ー	ド	エ	ン	ジ	ニ	ア	リ	ン
食	品	と	リ	ス	ク	コ	ミ	ユ	ニ
食	品	感	覚	機	能	論	講	義	2
フ	ー	ド	マ	ー	ケ	テ	イ	ン	グ
ス	ポ	ー	ツ	栄	養	論	講	義	2
セ	ル	フ	メ	デ	イ	ケ	ー	シ	ョ
ス	ポ	ー	ツ	科	学	論	講	義	2
フ	ー	ド	マ	ー	ケ	テ	イ	ン	グ
分	子	栄	養	代	謝	学	演	習	1
食	品	微	生	物	学	講	義		2
食	文	化	物	学	論	講	義		2
食	品	品	質	学	論	講	義		2
栄	養	健	康	情	報	論	講	義	2
食	品	バ	イ	オ	テ	ク	ノ	ロ	ジ
イ	ン	タ	ー	ン	シ	ッ	演	習	1
調	理	科	学	学	学	II	講	義	2
調	理	科	学	学	実	験	実	験	1
食	品	開	発	論	講	義		2	
世	界	の	食	文	化	と	調	理	学
学	校	栄	養	教	論	学	実	習	論
フ	ー	ド	ス	ペ	シ	ャ	リ	ス	ト
									論
									講
									義

フ	ー	ド	コ	ー	デ	ィ	ネ	ー	ト	論	講義	2					
教職課程科目(家庭)																	
保	育	学	(含	実	習	及	び	家	庭	看	護)	講義	2		
衣	生	活	概	論	講義	2											
被	服	材	料	学	講義	2											
被	服	工	作	(和)	(洋)	実習	2						
製	図	及	び	家	庭	工	作	学	講義	2							
〔自由科目〕																	
(社会体験実習)																	
企	業	等	体	験	実	習	—					1又は2					
食物学科																	
管理栄養士専攻																	
〔専門教育科目〕																	
共通専門科目																	
家	庭	経	営	学	概	論	(含	家	庭	経	済	学)	講義	2	
家	族	関	係	論	講義	2											
住	居	学	概	論	講義	2											
被	服	学	概	論	講義	2											
児	童	学	概	論	講義	2											
環	境	科	学	概	論	講義	2										
ラ	イ	フ	デ	ザ	イ	ン	学	概	論	講義	2						
社会・環境と健康																	
公	衆	衛	生	学	I	講義	2										
公	衆	衛	生	学	II	講義	2										
実	践	統	計	学	演習	2											
社	会	福	祉	論	講義	2											
生	活	環	境	実	験	実	1										
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち																	
生	化	学	I	講義	2												
生	化	学	II	講義	2												
生	化	学	実	験	実	1											
栄	養	生	化	学	講義	2											
生	理	学	講義	2													
人	体	構	造	機	能	論	講義	2									
人	体	構	造	機	能	論	実	験	実	1							
疾	病	の	成	り	立	ち	I	講義	2								
疾	病	の	成	り	立	ち	II	講義	2								
栄	養	代	謝	実	習	実	1										
食べ物と健康																	
食	品	学	学	講義	2												
食	品	学	実	験	実	1											
食	品	化	学	講義	2												
食	品	化	学	実	験	実	1										
食	安	全	学	講義	2												
食	安	全	学	実	験	実	1										
調	理	科	学	講義	2												
基	礎	調	理	学	実	習	I	実	習	1							
基	礎	調	理	学	実	習	II	実	習	1							
食	事	設	計	論	実	習	実	習	1								
基礎栄養学																	

基	礎	栄	養	学	I	講	義	2				
基	礎	栄	養	学	II	講	義	2				
栄	養	学	実	験		実	験	1				
応	用	栄	養	学								
ラ	イ	フ	ス	テ	ー	ジ	栄	養	学	講	義	2
ラ	イ	フ	ス	テ	ー	ジ	栄	養	学	実	習	1
応	用	栄	養	科	学					講	義	2
食	事	撰	取	基	準	論				講	義	2
栄	養	教	育	論								
栄	養	教	育	論	I	講	義	2				
栄	養	教	育	論	II	講	義	2				
栄	養	教	育	論	実	習	I	実	習	1		
栄	養	教	育	論	実	習	II	実	習	1		
カ	ウ	ン	セ	リ	ン	グ	論			講	義	2
臨	床	栄	養	学								
病	態	栄	養	学	I	講	義	2				
病	態	栄	養	学	II	講	義	2				
臨	床	栄	養	学	I	講	義	2				
臨	床	栄	養	学	II	講	義	2				
臨	床	栄	養	学	実	習	I	実	習	1		
臨	床	栄	養	学	実	習	II	実	習	1		
臨	床	栄	養	指	導	論				講	義	2
公	衆	栄	養	学								
公	衆	栄	養	学	I	講	義	2				
公	衆	栄	養	学	II	講	義	2				
公	衆	栄	養	学	実	習				実	習	1
給	食	経	営	管	理	論						
給	食	経	営	管	理	論	I	講	義	2		
給	食	経	営	管	理	論	II	講	義	2		
給	食	経	営	管	理	実	習	I	実	習	1	
給	食	経	営	管	理	実	習	II	実	習	1	
総	合	演	習									
臨	地	実	習	指	導					演	習	2
管	理	栄	養	士	概	論	I	講	義	2		
管	理	栄	養	士	概	論	II	講	義	2		
管	理	栄	養	士	総	合	演	習		演	習	2
臨	地	実	習									
臨	地	実	習				I	実	習	1		
臨	地	実	習				II	実	習	3		
管	理	栄	養	士	演		習	演	習	2		
食	物	学	演				習	演	習	2		
栄	養	健	康	情	報	論				講	義	2
機	能	性	食	品	学	講	義	2				
調	理	科	学	品	実	験	実	験	1			
食	品	微	生	物	学	講	義	2				
食	品	微	生	物	学	実	験	実	験	1		
食	文	化				論				講	義	2
化		学				I	講	義	2			
化		学				II	講	義	2			
基	礎	生	物	学						講	義	2
学	校	栄	養	教	論	論	I	講	義	2		

学 校 栄 養 教 諭 論 論 II	講 義	2
ス ポ ー ツ 科 学 論 講 義	講 義	2
ス ポ ー ツ 栄 養 論 講 義	講 義	2
セ ル フ メ デ ィ ケ ー シ ョ ン 概 論 講 義	講 義	2
ス ポ ー ツ 栄 養 論 実 習 実 習	実 習	1
卒 業 研 究 一	一	2
卒 業 論 文 I	一	2
卒 業 論 文 II	一	2
〔自由科目〕		
(社会体験実習)		
企 業 等 体 験 実 習 一	一	1又は2
児 童 学 科		
児 童 学 専 攻		
〔専門教育科目〕		
共 通 専 門 科 目		
家 庭 経 営 学 概 論 (含 家 庭 経 済 学)	講 義	2
家 族 関 係 論 講 義	講 義	2
住 居 学 概 論 講 義	講 義	2
被 服 学 概 論 講 義	講 義	2
食 物 学 概 論 講 義	講 義	2
環 境 科 学 概 論 講 義	講 義	2
ラ イ フ デ ザ イ ン 学 概 論 講 義	講 義	2
児 童 学 入 門 講 義	講 義	2
保 育 原 理 講 義	講 義	2
児 童 文 化 論 講 義	講 義	2
子 ど も と 遊 び 演 習	演 習	2
子 ど も の 権 利 論 講 義	講 義	2
領 域 人 間 関 係 論 講 義	講 義	2
領 域 表 現 現 代 講 義	講 義	2
子 ど も と か ら だ 演 習	演 習	2
教 育 原 理 A 講 義	講 義	2
児 童 学 基 礎 演 習 講 義	講 義	2
社 会 福 祉 学 講 義	講 義	2
子 ど も 理 解 の 基 礎 講 義	講 義	2
保 育 内 容 人 間 関 係 の 指 導 法 演 習	演 習	2
保 育 内 容 表 現 の 指 導 法 演 習	演 習	2
保 育 内 容 の 理 解 と 方 法 I 演 習	演 習	2
保 育 者 養 成 基 礎 演 習 I 演 習	演 習	2
保 育 内 容 の 理 解 と 方 法 II 演 習	演 習	2
保 育 者 養 成 基 礎 演 習 II 演 習	演 習	2
子 ど も 家 庭 福 祉 論 講 義	講 義	2
保 育 者 論 講 義	講 義	2
領 域 健 康 論 講 義	講 義	2
領 域 こ と ば 論 講 義	講 義	2
保 育 カ リ キ ュ ラ ム 論 講 義	講 義	2
乳 児 保 育 I 講 義	講 義	2
社 会 的 養 護 論 講 義	講 義	2
子 ど も 家 庭 支 援 論 講 義	講 義	2
保 育 内 容 健 康 の 指 導 法 演 習	演 習	2
保 育 内 容 こ と ば の 指 導 法 演 習	演 習	2

子どもの理解と援助	演習	2		
乳児保育	演習	2		
子領域的環境	講義	2		
社会	演習	2		
子ども	講義	2		
子どもの食と栄養	演習	2		
教育経営論	A 講義	2		
保育方法演習	A 演習	2		
障がい児保育	演習	2		
子ども家庭支援の心理学	講義	2		
保育内容環境の指導法	演習	2		
子どもの健康と安全	演習	2		
児童学専門演習 I	演習	2		
児童学専門演習 II	演習	2		
児童学プロジェクト I	演習	2		
児童学プロジェクト II	演習	2		
卒業研究ゼミナール I	演習	2		
卒業研究ゼミナール II	演習	2		
卒業研究	—	6		
子どもと物語	演習	2		
子どもと音楽 I	演習	2		
子どもと音楽 II	演習	2		
子どもと造形	演習	2		
児童学研究法 A	講義	2		
児童学研究法 B	講義	2		
児童学研究法 C	講義	2		
学童保育	演習	2		
子ども N P O	講義	2		
保育カンファレンス演習	演習	2		
子どもと地域	講義	2		
子どもと貧困	講義	2		
子どもと科学する心	演習	2		
保育者とアーティスト (造形)	演習	2		
保育者とアーティスト (音楽)	演習	2		
保育者とアーティスト (パフォーマンス)	演習	2		
保育者とアーティスト (パフォーマンス)	演習	2		
保育者 (幼稚園 I)	演習	2		
教育実習 (幼稚園 II)	実習	2		
幼稚園実習特講	講義	1		
保育実習 I	実習	4		
保育実習指導 I A	演習	2		
保育実習指導 I B	演習	2		
保育実習 II	実習	2		
保育実習指導 II	演習	2		
保育内容総論	演習	2		
保育実習 (アドバンス)	実習	2		
保育実習 (アドバンス演習)	演習	2		
保育・教職実践演習	演習	2		
〔自由科目〕				
(社会体験実習)				

企業等体験実習	—	1又は2
児童学科		
児童教育専攻		
[専門教育科目]		
共通専門科目		
家庭経営学概論(含家庭経済学)	講義	2
家族関係論	講義	2
住居学概論	講義	2
被服学概論	講義	2
食物学概論	講義	2
環境科学概論	講義	2
ライフデザイン学概論	講義	2
教育心理学	講義	2
児童教育研究法Ⅰ	講義	2
社会福祉学	講義	2
児童学基礎体験演習Ⅰ	演習	2
児童学基礎体験演習Ⅱ	演習	2
子ども心理	講義	2
教師論	講義	2
音楽科教育	講義	2
図工科教育	講義	2
科学遊び	講義	2
子どもと実	講義	2
化学の基礎	講義	2
物理の基礎	講義	2
生物の基礎	講義	2
生物学基礎実験Ⅰ	実験	2
地学基礎実験Ⅰ	実験	2
児童学基礎体験演習Ⅲ	演習	2
教育原理Ⅱ	講義	2
科学と説明・論証	講義	2
国語科教育	講義	2
社会科教育	講義	2
算数科教育	講義	2
理科教育	講義	2
家庭科教育	講義	2
体育科教育	演習	2
物理学基礎実験Ⅰ	実験	2
化学基礎実験Ⅰ	実験	2
小学校教育外国語教育	講義	2
道徳教育	講義	2
教育経営論Ⅱ	講義	2
教育課程論	講義	2
教育方法論	演習	2
教育相談	講義	2
児童学専門演習Ⅰ	演習	2
児童学専門演習Ⅱ	演習	2
子どもと生命	講義	2

子どもと観察	講義	2
子どもと科学する	演習	2
生徒・進路指導の理論及び方法	講義	2
総合的な学習の時間の学びと指導	講義	2
特別活動	講義	2
特別支援教育	講義	2
卒業研究ゼミナールⅠ	演習	2
卒業研究ゼミナールⅡ	演習	2
卒業研究	—	6
生物学基礎実験Ⅱ	実験	2
地学基礎実験Ⅱ	実験	2
生活と物理学	講義	2
生活と化学	講義	2
物理学基礎実験Ⅱ	実験	2
化学基礎実験Ⅱ	実験	2
理科教育法Ⅰ	講義	2
理科教育法Ⅱ	講義	2
小学校総合演習Ⅰ	演習	2
小学校総合演習Ⅱ	演習	2
国語科指導	演習	2
社会科指導	演習	2
算数科指導	演習	2
理科指導	演習	2
生活科指導	演習	2
音楽科指導	演習	2
図工科指導	演習	2
家庭科指導	演習	2
生物と環境	講義	2
地球と環境	講義	2
理科教育法Ⅲ	講義	2
理科教育法Ⅳ	講義	2
特別活動要説	講義	2
教育実習(中学校)	実習	4
中学校実習指導	講義	1
サイエンス・エデュケーター論	講義	2
小学校外国語指導法	演習	2
学級経営と集団づくり	講義	2
教職実践演習(小・中)	演習	2
教育実習(小学校)	実習	4
小学校実習特	講義	1
子どもと読書	演習	2
児童教育研究法Ⅱ	講義	2
子どもとの言語	講義	2
子どもとの自然	講義	2
野外活動支援演習	演習	2
フレクシヨーン基礎論	演習	2
科学する心(生命編)	講義	2
科学する心(地球編)	講義	2
フレクシヨーン実践演習	演習	2
小学児童保育	演習	2

子ども の 学 び と I C T	講 義	2	
科 学 す る 心 (エ ネ ル ギ ー 編)	講 義	2	
科 学 す る 心 (粒 子 編)	講 義	2	
子 ども と 貧 困	講 義	2	
異 文 化 の な か の 児 童	講 義	2	
児 童 学 ワ ー ク シ ョ ッ プ	講 義	2	
〔自由科目〕			
(社会体験実習)			
企 業 等 体 験 実 習	—	1又は2	
ライフデザイン学科			
〔専門教育科目〕			
共通専門科目			
住 居 学 概 論	講 義	2	
被 服 学 概 論	講 義	2	
食 物 学 概 論	講 義	2	
児 童 学 概 論	講 義	2	
ラ イ フ デ ザ イ ン 学 総 論	講 義	2	
生 活 経 営 学	講 義	2	
家 族 社 会 学	講 義	2	
生 活 文 化 史	講 義	2	
ラ イ フ デ ザ イ ン 基 礎 演 習 I (思 考 ・ 表 現 力)	演 習	2	
ラ イ フ デ ザ イ ン 基 礎 演 習 II (日 本 語 力)	演 習	2	
生 命 論	講 義	2	
日 常 生 活 と 環 境	講 義	2	
生 活 環 境 と 健 康	講 義	2	
ヒ ト と 生 態 系	講 義	2	
生 物 環 境 学 演 習	演 習	2	
プ ロ ダ ク ト デ ザ イ ン 演 習	演 習	2	
グ ラ フ ィ ッ ク デ ザ イ ン 演 習	演 習	2	
N P O ・ 市 民 参 加 論	講 義	2	
自 然 体 験 論 I	講 義	1	
自 然 体 験 論 II	講 義	1	
家 族 心 理 学	講 義	2	
ラ イ フ デ ザ イ ン 演 習 I (量 的 調 査 法)	演 習	2	
ラ イ フ デ ザ イ ン 演 習 II (質 的 調 査 法)	演 習	2	
ラ イ フ デ ザ イ ン 演 習 III (編 集 ・ プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン)	演 習	2	
生 涯 発 達 心 理 学	講 義	2	
コ ミ ュ ニ テ イ と 福 祉	講 義	2	
エ コ ロ ジ カ ル ラ イ フ 演 習	演 習	2	
工 芸 デ ザ イ ン 演 習	演 習	2	
イ ン テ リ ア デ ザ イ ン 応 用 演 習	演 習	2	
生 活 と 工 芸	講 義	2	
感 性 教 育 A (ス ピ ー チ)	実 習	1	
感 性 教 育 B (デ ザ イ ン)	実 習	1	
感 性 教 育 C (ア ー ト)	実 習	1	
都 市 と 公 園	講 義	2	
家 族 法	講 義	2	
イ ン テ リ ア 製 図 演 習	演 習	2	
イ ン テ リ ア 空 間 デ ザ イ ン 演 習	演 習	2	
住 空 間 デ ザ イ ン 演 習	演 習	2	

市 民 生 活 と	法 論	講 義	2	
生 活 情 報	講 義	2		
情 報 デ ザ イ ン 演	習 演	2		
情 報 と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	講 義	2		
エ コ ロ ジ カ ル ラ イ フ	論 講	2		
ヨ ー ロ ッ パ 現 代 社 会	論 講	2		
情 報 社 会	論 講	2		
ヨ ー ロ ッ パ 現 代 生 活	論 講	2		
消 費 者 と	法 講	2		
青 少 年 と	法 講	2		
暮 ら し と フ ァ イ ナ ン ス	講 義	2		
暮 ら し と 社 会 保 障	講 義	2		
住 文 化	論 講	2		
生 活 と デ ザ イ ン	講 義	2		
比 較 地 域 文 化	論 講	2		
住 空 間 デ ザ イ ン	論 講	2		
生 活 と 色	彩 講	2		
イ ン テ リ ア デ ザ イ ン	論 講	2		
デ ザ イ ン 文 化	論 講	2		
グ リ ー ン ツ ー リ ズ ム 体 験 実 習	実 習	1		
地 域 社 会 と 環 境	講 義	2		
ポ ピ ュ ラ ー カ ル チ ャ ー の 国 際 比 較	講 義	2		
仕 事 の 社 会	学 講	2		
環 境 教 育 ・ 思 想	論 講	2		
消 費 生 活	論 講	2		
家 族 と 文 化 の 心 理 学	講 義	2		
社 会 生 活 と 心 の 健 康	講 義	2		
農 業 体 験 学	習 演	2		
ラ イ フ デ ザ イ ン の 思 想 と 実 践	講 義	2		
余 暇 生 活	論 講	2		
ゼ ミ ナ ー ル I	演 習	1		
ゼ ミ ナ ー ル I	演 習	1		
ゼ ミ ナ ー ル II	演 習	1		
ゼ ミ ナ ー ル II	演 習	1		
卒 業 研 究	—	6		
〔自由科目〕				
（社会体験実習）				
企 業 等 体 験 実 習	—	1又は2		
文 学 部				
日 本 文 学 科				
〔専門教育科目〕				
日 本 語 学				
日 本 語 学 概 説	講 義	2		
日 本 語 学 講 義	講 義	2		
日 本 語 学 演 習 I	演 習	2		
日 本 語 学 演 習 II	演 習	2		
日 本 文 学				
日 本 古 典 文 学 入 門	講 義	2		
変 体 仮 名 読 解	演 習	2		
上 代 文 学 概 説	講 義	2		

中	古	文	学	概	説	講	義	2	
中	世	文	学	概	説	講	義	2	
近	世	文	学	概	説	講	義	2	
近	代	文	学	概	説	講	義	2	
現	代	文	学	講	義	講	義		2
上	古	文	学	講	義	講	義		2
中	世	文	学	講	義	講	義		2
中	世	文	学	講	義	講	義		2
近	代	文	学	講	義	講	義		2
近	代	文	学	習	義	講	義		2
現	代	文	学	習	I	演	習		2
上	代	文	学	演	II	演	習		2
上	古	文	学	演	I	演	習		2
中	古	文	学	演	II	演	習		2
中	世	文	学	演	I	演	習		2
中	世	文	学	演	II	演	習		2
近	世	文	学	演	I	演	習		2
近	世	文	学	演	II	演	習		2
近	代	文	学	演	I	演	習		2
近	代	文	学	演	II	演	習		2
現	代	文	学	演	I	演	習		2
現	代	文	学	演	II	演	習		2
漢	文	学							
漢	文	学	学	入	門	講	義	2	
漢	文	学	学	概	説	講	義	2	
漢	文	学	学	講	義	講	義		2
漢	文	学	演	習	I	演	習		2
漢	文	学	演	習	II	演	習		2
語	学	文	学	講	I	講	義	2	
語	学	文	学	講	II	講	義	2	
基	礎	ゼ	ミ	ミ	I	演	習	2	
基	礎	ゼ	ミ	ミ	II	演	習	2	
卒	業	論	ゼ	ミ	I	演	習	2	
卒	業	論	ゼ	ミ	II	演	習	2	
卒	業	論	ゼ	ミ	III	演	習	2	
卒	業	論	ゼ	ミ	IV	演	習	2	
卒	業	論	ゼ	ミ	文	一		6	
書	誌	・	出	研	版	講	義	2	
創	作	・	研	別	究	講	義		2
語	学	文	学	特	義	講	義		2
語	学	文	学	特	演	演	習		2
研	究	の	方	法	(講	義		2
研	究	の	方	法	古	講	義		2
研	究	の	方	法	典	講	義		2
メ	デ	イ	ア	文	漢	講	義		2
メ	デ	イ	ア	文	文	講	義		2
メ	デ	イ	ア	文	化	講	義		2
比	較	文	化	演	化	講	義		2
ジ	ェ	ン	ダ	一	と	講	義		2
伝	承	と	文	文	学	講	義		2

日 本 の 思 想	A	講 義	2
日 本 の 思 想	B	講 義	2
日 本 の 美 術		講 義	2
日 本 の 芸 能 と 文 化		講 義	2
日 本 の 映 像 メ デ ィ ア		講 義	2
日 本 の 歴 史 と 社 会		講 義	2
日 本 の 歴 史 と 文 化		講 義	2
文 学 部 共 通 科 目			
言 語 文 化 を 知 る			
日 本 語 の 歴 史		講 義	2
日 本 語 と 社 会		講 義	2
英 語 と 日 本 語		講 義	2
こ と ば の 仕 組 み と 働 き		講 義	2
文 字 文 化 論		講 義	2
ド イ ツ 文 化		講 義	2
フ ラ ン ス 文 化		講 義	2
ス ペ イ ン 文 化		講 義	2
中 国 文 化		講 義	2
韓 国 文 化		講 義	2
地 域 文 化 を 知 る			
江 戸 ・ 東 京 の 文 化		講 義	2
日 本 文 化 と ア ジ ア		講 義	2
イ ギ リ ス 的 風 景		講 義	2
イ ギ リ ス の 階 級 と 伝 統		講 義	2
ア メ リ カ の 風 土 と 歴 史		講 義	2
ア メ リ カ の 文 化 と 思 想		講 義	2
イ ス ラ ム 文 化		講 義	2
メ デ ィ ア 文 化 を 知 る			
文 学 ・ 文 化 の 理 論		講 義	2
児 童 文 学		講 義	2
ジ ェ ン ダ ー 文 化 論		講 義	2
放 送 文 化 論		講 義	2
出 版 文 化 論		講 義	2
広 告 論		講 義	2
世 界 を 知 る			
諸 外 国 と の 国 際 交 流	A	—	2
(ア ジ ア 圏)			
諸 外 国 と の 国 際 交 流	B	—	2
(欧 米 圏)			
教 職 課 程 科 目 (国 語)			
書 法 総 合 演 習	I	演 習	2
書 法 総 合 演 習	II	演 習	2
〔 自 由 科 目 〕			
(社 会 体 験 実 習)			
企 業 等 体 験 実 習		—	1又は2
英 語 英 文 学 科			
〔 専 門 教 育 科 目 〕			
英 語 学			
英 語 学 入 門	1	講 義	2
英 語 学 入 門	2	講 義	2

英語発音入門	演習	2	
英語音声学演習	演習		2
英語学(音声・音韻)	演習		2
英語学(語彙・形態)	演習		2
英語学(語法・文法)	演習		2
英語学(意味・語用)	演習		2
英語学(特論)	演習		2
英文法(基礎)	演習	2	
英文法(基礎)	演習	2	
英文法(発展)	演習	2	
英文法(発展)	演習	2	
英文学			
英文学入門	講義	2	
英文学入門	講義	2	
米文学入門	講義	2	
米文学入門	講義	2	
英文学(近代)	演習		2
英文学(現代)	演習		2
英文学(特論)	演習		2
米文学(近代)	演習		2
米文学(現代)	演習		2
米文学(特論)	演習		2
異文化間コミュニケーション	演習		2
異文化間コミュニケーション	演習		2
基礎セミナー	演習	2	
基礎セミナー	演習	2	
イギリス入門	講義	2	
アメリカ入門	講義	2	
英米文化(言語)	演習		2
英米文化(社会)	演習		2
英米文化(映像・身体表現)	演習		2
英米文化(特論)	演習		2
ISEC	演習		2
セミナー	演習	2	
セミナー	演習	2	
セミナー	演習	2	
セミナー	演習	2	
資格英語	演習		2
Extensive Reading (Basic)	演習		2
Extensive Reading (Advanced)	演習		2
Speaking (Basic) A	演習		2
Speaking (Basic) B	演習		2
Speaking (Intermediate) A	演習		2
Speaking (Intermediate) B	演習		2
Speaking (Advanced)	演習		2
英文講読(基礎)	演習	2	
英文講読(基礎)	演習	2	
英文講読(発展)	演習	2	
英文講読(発展)	演習	2	
英語教育学(第二言語習得論)	演習		2
英語教育学(児童英語教育1)	演習		2

英語教育学（児童英語教育2）	演習	2
英語教育学（メディア論）	演習	2
上級英語 A	演習	2
上級英語 B	演習	2
Academic English 1 A	演習	2
Academic English 1 B	演習	2
Academic English 2 A	演習	2
Academic English 2 B	演習	2
Special Topics through English	演習	2
卒業論文	—	6
Integrated English 1 A	演習	2
Integrated English 1 B	演習	2
Integrated English 2 A	演習	2
Integrated English 2 B	演習	2
T O E I C P r e p a r a t i o n	演習	2
Global Issues and Communication	演習	2
Strategies for Speaking	演習	2
Research and Presentation	演習	2
文学部共通科目		
言語文化を知る		
日本語の歴史	講義	2
日本語と社会	講義	2
英語と日本語	講義	2
こ と ば の 仕 組 み と 働 き	講義	2
文字文化論	講義	2
ドイツ文化	講義	2
フランス文化	講義	2
スペイン文化	講義	2
中国文化	講義	2
韓国文化	講義	2
地域文化を知る		
江戸・東京の文化	講義	2
日本文化とアジア	講義	2
イギリス的風景	講義	2
イギリスの階級と伝統	講義	2
アメリカの風土と歴史	講義	2
アメリカの文化と思想	講義	2
イスラム文化	講義	2
メディア文化を知る		
文学・文化の理論	講義	2
児童文学	講義	2
ジェンダー文化論	講義	2
放送文化論	講義	2
出版文化論	講義	2
広告論	講義	2
世界を知る		
諸外国との国際交流 A （アジア圏）	—	2
諸外国との国際交流 B （欧米圏）	—	2
〔自由科目〕		

(社会体験実習)								
企業等体験実習						—		1又は2
コミュニケーション文化学科								
〔専門教育科目〕								
言語								
日本語口頭表現法						演習	2	
コミュニケーション英語 A (スピーキング)						演習		2
コミュニケーション英語 B (リーディング・アンド・ディスカッション)						演習		2
コミュニケーション英語 C (リスニング・アンド・プレゼンテーション)						演習		2
コミュニケーション英語 D (ライティング・スキルズ)						演習		2
コミュニケーション中国語 I						演習		2
コミュニケーション中国語 II						演習		2
コミュニケーション中国語 III						演習		2
コミュニケーション中国語 IV						演習		2
通訳演習 (英)						演習		2
通訳演習 (中)						演習		2
現代中国語						演習		2
現代中国語						演習		2
時事中国語						演習		2
時事中国語						演習		2
ゼミナール								
1	年	次	ゼ	ミ	I	演習	2	
1	年	次	ゼ	ミ	II	演習	2	
2	年	次	ゼ	ミ	I	演習	2	
2	年	次	ゼ	ミ	II	演習	2	
卒	業	研	究	ゼ	ミ	I	演習	2
卒	業	研	究	ゼ	ミ	II	演習	2
卒	業	研	究	ゼ	ミ	III	演習	2
卒	業	研	究	ゼ	ミ	IV	演習	2
卒	業	研	究	論	文	—	6	
基礎講義								
コミュニケーション文化概論						講義	2	
現代国際地域事情						講義	2	
社会言語学						講義		2
社会心理学						講義		2
社会心理学						講義		2
異文化コミュニケーション I						講義		2
異文化コミュニケーション II						講義		2
異文化コミュニケーション論						講義		2
国際文化論						講義		2
国際関係論						講義		2
メディア・コミュニケーション I						講義		2
メディア・コミュニケーション II						講義		2
言語・文化コミュニケーション I						講義		2
言語・文化コミュニケーション II						講義		2
社会・政策コミュニケーション I						講義		2
社会・政策コミュニケーション II						講義		2

表象文化コミュニケーション I	講義	2
表象文化コミュニケーション II	講義	2
専門講義・演習		
映像文化演習	演習	2
欧米文化演習	演習	2
中国文化演習	演習	2
韓国・朝鮮文化演習	演習	2
言語文化演習	演習	2
異文化コミュニケーション演習	演習	2
社会調査演習	演習	2
コンピュータ・リテラシー演習	演習	2
インタビュー演習	演習	2
コミュニケーション文化特殊研究	演習	2
ビジネス・ライティング (英)	演習	2
ビジネス・ライティング (中)	演習	2
テクニカル・ライティング	演習	2
欧米文化論	講義	2
民族文化論	講義	2
国際コミュニケーション論	講義	2
国際ジャーナリズム論	講義	2
国際教育論	講義	2
国際メディア論 A (欧米)	講義	2
国際メディア論 B (アジア)	講義	2
メディア・コミュニケーション論	講義	2
現代正義論	講義	2
文学部共通科目		
言語文化を知る		
日本語の歴史	講義	2
日本語と社会	講義	2
英語と日本語	講義	2
ことばの仕事と働き	講義	2
文字文化論	講義	2
ドイッ文	講義	2
フランス文	講義	2
スペイン文	講義	2
中国文化	講義	2
韓国文化	講義	2
地域文化を知る		
江戸・東京の文化	講義	2
日本文化とアジア	講義	2
イギリス的風景	講義	2
イギリスの階級と伝統	講義	2
アメリカの風土と歴史	講義	2
アメリカの文化と思想	講義	2
イスラム文化	講義	2
メディア文化を知る		
文学・文化の理論	講義	2
児童文化論	講義	2
ジェンダー文化論	講義	2
放送文化論	講義	2

出版文化論	講義	2	
広告	講義	2	
世界を知る			
諸外国との国際交流 A (アジア圏)	—	2	
諸外国との国際交流 B (欧米圏)	—	2	
〔自由科目〕			
(社会体験実習)			
企業等体験実習	—	1又は2	
社会情報学部			
社会情報学科			
〔専門教育科目〕			
共通専門科目			
コンピュータの基礎	講義	2	
社会情報概論	講義	2	
基礎統計学	講義・演習	2	
ソフトウェア概論	講義	2	
情報セキュリティ論	講義	2	
情報基礎数学	講義	2	情報デザイン専攻必修
情報処理工実習 A	実習	2	
情報処理工実習 B	実習	2	
情報と職業	講義	2	
基礎社会学	講義	2	
経営と社会	講義	2	
A I 入門	講義・実習	2	
情報社会論	講義	2	
コミュニティシヨン	講義	2	
情報倫理	講義	2	
情報と法律	講義	2	
建築・不動産と社会	講義	2	
社会生活情報学専攻			
生活系			
発達心理学	講義	2	
感情とパーソナリティの心理学	講義	2	
病と健康の心理学	講義	2	
老いの心理学	講義	2	
社会心理学	講義	2	
心理統計演習	演習	2	
経済学系			
経済政策論	講義	2	
マクロ経済と金融	講義	2	
教育の経済学	講義・演習	2	
グローバル経済	講義	2	
社会保障の経済学	講義	2	
企業組織の経済学	講義	2	
産業組織の経済学	講義	2	
情報経済学	講義	2	
日本経済論	講義	2	

経			濟			史	講	義	2
女		性	勞		働	論	講	義	2
勞		働	經		濟	学	講	義	2
国		際	金		融	論	講	義	2
ネ		ト	一		ク	經	講	義	2
管	学系					濟	講	義	2
會		計	学		入	門	講	義	2
マ	一	ケ	テ	ィ	ン	グ	入	門	講
ケ	一	ス	ス	タ	デ	ィ	經	学	演
経		営		戦			略	論	講
企		業		と			社	會	講
経		営		組			織	論	講
マ	一	ケ	テ	ィ	ン	グ	・	サ	講
流				通			ィ	エ	講
ブ		ラ		ン			ド		講
消		費		者		行		動	講
消		費		者		行		動	演
地		域		經				營	演
社	学系								講
現		代	社		會	論	講	義	2
ジ	ェ	ン	ダ	一	と	コ	ロ	ニ	ア
グ	ロ	ー	バ	リ	ゼ	ー	シ	ョ	ン
量		的		調		査			演
質		的		調		査			演
社		會		調		査			法
情		報		行		動			講
情		報		文		化			義
移	動	と	エ	ス	ニ	シ	テ		講
都				市					義
社	會	学	の	理	論	と	方		講
メ	デ	ィ	ア	学	基	礎			講
メ	デ	ィ	ア	ア	史				講
マ	ス	メ	デ	ィ	ア	論			講
情		報	表		現	法			演
コ	ン	テ	ン	ツ	産	業	論		講
オ	ル	タ	ナ	テ	ィ	ブ	・	メ	デ
ソ	ー	シ	ャ	ル	メ	デ	ィ	ア	論
メ	デ	ィ	ア	運	用	演			習
メ	デ	ィ	ア	社	會	論	演		習
広			告						演
オ	ン	ラ	ィ	ン	デ	一	タ	分	析
メ	デ	ィ	ア	と	社	會	変	容	講
多		文	化	社	會	論			講
A		I	社	會	論				講
情	報	処	理						
情		報	分	析	演	習			演
情		報	リ	テ	ラ	シ	一	演	習
留	学	認	定	科	目				
異		文	化	理	解	I	一		2
異		文	化	理	解	II	一		2

専 門 特 殊 講 義	講 義	2	内容が異なる場合は複数回の履修を認める。
経 営 学 入 門 講 義	講 義	2	
基 礎 経 済 学 講 義	講 義	2	
社 会 生 活 情 報 基 礎 演 習 I	演 習	2	
社 会 生 活 情 報 基 礎 演 習 II	演 習	2	
プ ロ グ ラ ミ ン グ の 基 礎	講義・演習	2	
プ ロ グ ラ ミ ン グ 基 礎 演 習	講義・演習	2	
社 会 情 報 学 ゼ ミ ナ ー ル I	演 習	2	
社 会 情 報 学 ゼ ミ ナ ー ル II	演 習	2	
社 会 情 報 学 ゼ ミ ナ ー ル III	演 習	2	
社 会 情 報 学 ゼ ミ ナ ー ル IV	演 習	2	
卒 業 研 究	—	6	
教 職 課 程 科 目 (情 報)			
ア ル ゴ リ ズ ム 論 及 び 演 習 I	講義・演習	2	
ア ル ゴ リ ズ ム 論 及 び 演 習 II	講義・演習	2	
情 報 シ ス テ ム 論 及 び 実 習 I	講義・実習	2	
情 報 シ ス テ ム 論 及 び 実 習 II	講義・実習	2	
情 報 ネ ッ ト ワ ー ク 論 及 び 実 習 I	講義・実習	2	
情 報 ネ ッ ト ワ ー ク 論 及 び 実 習 II	講義・実習	2	
環 境 情 報 学 専 攻			
人 間 と 環 境			
生 命 の し く み	講 義	2	
環 境 科 学	講 義	2	
地 球 環 境 論	講 義	2	
住 居 環 境 論	講 義	2	
宇 宙 地 球 科 学	講 義	2	
生 命 科 学 と く ら し	講 義	2	
食 と 環 境	講 義	2	
健 康 と 環 境	講 義	2	
環 境 演 習 I	講義・演習	2	
環 境 演 習 II	講義・演習	2	
特 殊 講 義 II (く ら し と 環 境)	講 義	2	
環 境 生 理 学	講 義	2	
住 居 の デ ザ イン			
住 居 の 基 礎	講 義	2	
設 計 製 図 の 基 礎	演 習	2	
住 居 デ ザ イン 演 習 I	演 習	2	
住 居 デ ザ イン 演 習 II	演 習	2	
住 居 デ ザ イン	講 義	2	
力 と か た ち I	講 義	2	
力 と か た ち II	講 義	2	
建 築 と 都 市 の 歴 史	講 義	2	
建 築 と 社 会	講 義	2	
建 築 イ ン テ リ ア 材 料	講 義	2	
建 築 法 規 と 都 市 デ ザ イン	講 義	2	
持 続 的 な く ら し と 社 会			
環 境 と 経 済 I	講 義	2	
環 境 と 経 済 II	講 義	2	

環 境 と 法 律	I	講 義	2	
環 境 と 法 律	II	講 義	2	
環 境 と 経 営		講 義	2	
環 境 マ ネ ジ メ ン ト	論	講 義	2	
特 殊 講 義 I (社 会 と 環 境)		講 義	2	
環 境 と ア グ リ ビ ジ ネ ス		講 義	2	
環 境 と マ ー ケ テ イ ン グ		講 義	2	
エ ネ ルギ ー と 環 境		講 義	2	
環 境 と の 共 生				
環 境 デ ザ イ ン	論	講 義	2	
環 境 保 護	論	講 義	2	
環 境 ア セ ス メ ン ト	論	講 義	2	
エ コ ロ ジ	一	講 義	2	
自 然 科 学 入 門		講 義・演 習	2	
環 境 生 態 デ ザ イ ン		講 義	2	
フ ィ ー ル ド ワ ー ク A		実 習	1	
フ ィ ー ル ド ワ ー ク B		実 習	1	
ビ オ ト ー プ	論	講 義	2	
建 築 デ ザ イ ン		講 義	2	
環 境 教 育		講 義	2	
環 境 と ツ ー リ ズ ム		講 義	2	
環 境 と ま ち づ く り		講 義	2	
国 際 関 係 と 環 境	法	講 義	2	
留 学 認 定 科 目				
異 文 化 理 解 I		—	2	
異 文 化 理 解 II		—	2	
専 門 特 殊 講 義				
専 門 特 殊 講 義		講 義	2	内 容 が 異 な る 場 合 は 複 数 回 の 履 修 を 認 め る。
環 境 情 報 処 理 論 及 び 実 習 I		講 義・実 習	2	
環 境 情 報 処 理 論 及 び 実 習 II		講 義・実 習	2	
プ ロ グ ラ ミ ン グ の 基 礎		講 義・演 習	2	
プ ロ グ ラ ミ ン グ 基 礎 演 習		講 義・演 習	2	
環 境 情 報 学 基 礎 演 習		演 習	2	
環 境 学 入 門		講 義	2	
エ コ ラ イ フ 論		講 義	2	
社 会 情 報 学 ゼ ミ ナ ー ル I		演 習	2	
建 築 ・ 都 市 ゼ ミ ナ ー ル I		演 習	2	
社 会 情 報 学 ゼ ミ ナ ー ル II		演 習	2	
建 築 ・ 都 市 ゼ ミ ナ ー ル II		演 習	2	
社 会 情 報 学 ゼ ミ ナ ー ル III		演 習	2	
社 会 情 報 学 ゼ ミ ナ ー ル IV		演 習	2	
卒 業 研 究		—	6	
教 職 課 程 科 目 (理 科)				
生 物 の 基 礎		講 義	2	
物 理 の 基 礎 I		講 義	2	
物 理 の 基 礎 II		講 義	2	
化 学 の 基 礎 I		講 義	2	
化 学 の 基 礎 II		講 義	2	
地 学 の 基 礎		講 義	2	
物 理 基 礎 実 験		実 験	2	

化	学	基	礎	実	験	実	験	2														
生	物	基	礎	実	験	実	験	2														
地	学	基	礎	実	験	実	験	2														
情報デザイン専攻																						
情報基礎																						
情報基礎																						
情	報	処	理	原	論	講	義	2														
情	報	数	学	A	講	義	2															
情	報	数	学	B	講	義	2															
情	報	と	モ	デ	ル	講	義	2														
統	計	処	理	及	び	演	習	講義・演習	2													
A	I	デ	ー	タ	分	析	論	講義・演習	2													
数	値	計	算					講義	2													
情報リテラシー																						
情	報	処	理	機	器	概	論	講義	2													
ス	マ	ー	ト	デ	バ	イ	ス	論	講義	2												
社会情報メディア																						
ニ	ュ	ー	メ	デ	ィ	ア	論	I	講義	2												
ニ	ュ	ー	メ	デ	ィ	ア	論	II	講義	2												
経	営	情	報	シ	ス	テ	ム	論	講義	2												
システムコア																						
システム																						
情	報	シ	ス	テ	ム	論	及	び	実	習	I	講義・実習	2									
情	報	シ	ス	テ	ム	論	及	び	実	習	II	講義・実習	2									
情	報	ネ	ッ	ト	ワ	ー	ク	論	及	び	実	習	I	講義・実習	2							
情	報	ネ	ッ	ト	ワ	ー	ク	論	及	び	実	習	II	講義・実習	2							
オ	フ	ィ	ス	マ	ネ	ジ	メ	ン	ト	論	I	講義	2									
オ	フ	ィ	ス	マ	ネ	ジ	メ	ン	ト	論	II	講義	2									
情	報					管						講義	2									
ア	ル	ゴ	リ	ズ	ム	論	及	び	演	習	I	講義・演習	2									
ア	ル	ゴ	リ	ズ	ム	論	及	び	演	習	II	講義・演習	2									
プログラミング																						
プ	ロ	グ	ラ	ミ	ン	グ	入	門				講義・演習	2									
プ	ロ	グ	ラ	ミ	ン	グ	の	基	礎			講義・演習	2									
プ	ロ	グ	ラ	ミ	ン	グ	基	礎	演	習		講義・演習	2									
プ	ロ	グ	ラ	ミ	ン	グ	論	及	び	演	習	講義・演習	4									
シ	ミ	ュ	レ	ー	シ	ョ	ン	論				講義	2									
ス	マ	ー	ト	デ	バ	ィ	ス	応	用	I	講義・演習	2										
ス	マ	ー	ト	デ	バ	ィ	ス	応	用	II	講義・演習	2										
オ	ブ	ジ	ェ	ク	ト	指	向	プ	ロ	グ	ラ	ミ	ン	グ	論	及	び	演	習	I	講義・演習	2
オ	ブ	ジ	ェ	ク	ト	指	向	プ	ロ	グ	ラ	ミ	ン	グ	論	及	び	演	習	II	講義・演習	2
W	e	b	プ	ロ	グ	ラ	ミ	ン	グ			講義・演習	2									
A	I	プ	ロ	グ	ラ	ミ	ン	グ			講義・演習	2										
デザインコア																						
情報デザイン																						
デ	ザ	ィ	ン	論	及	び	演	習	I	講義・演習	2											
デ	ザ	ィ	ン	論	及	び	演	習	II	講義・演習	2											
認	知					科						講義	2									
デ	ジ	タ	ル	コ	ン	テ	ン	ツ				講義・演習	2									
デ	ジ	タ	ル	コ	ン	テ	ン	ツ	応	用		講義・演習	2									

感性デザイン及び演習	講義・演習	2	
ウェブデザイン	講義・演習	2	
音声・音響デザイン	講義・演習	2	
MMデザイン			
インターフェースデザイン論	講義・演習	2	
マルチメディア論及び実習 I	講義・実習	2	
マルチメディア論及び実習 II	講義・実習	2	
コンピュータ・グラフィックス I	講義・演習	2	
コンピュータ・グラフィックス II	講義・演習	2	
画像情報処理論及び演習	講義・演習	2	
総合学習			
情報デザイン基礎演習	演習	2	
クリエイトイブ思考法	講義・演習	2	
社会情報学ゼミナール I	演習	2	
社会情報学ゼミナール II	演習	2	
社会情報学ゼミナール III	演習	2	
社会情報学ゼミナール IV	演習	2	
卒業業 研究	—	6	
留学認定科目			
異文化理解 I	—	2	
異文化理解 II	—	2	
専門特殊講義			
専門特殊講義	講義	2	内容が異なる場合は複数回の履修を認める。
〔自由科目〕			
（社会体験実習）			
企業等体験実習	—	1又は2	
スクーリングインターン	—	1又は2	
ボランティア体験活動	—	1又は2	
人間関係学部			
人間関係学科			
社会学専攻			
〔専門教育科目〕			
人間関係学部共通科目			
人間関係総論 I	講義	2	
人間関係総論 II	講義	2	
人間関係総論 III	講義	2	
心理学概論 I	講義	2	
心理学概論 II	講義	2	
社会学概論 I	講義	2	
社会学概論 II	講義	2	
社会福祉学概論 I	講義	2	
社会福祉学概論 II	講義	2	
社会学基礎ゼミナール I	演習	2	
社会学基礎ゼミナール II	演習	2	
社会調査講義 I	講義	2	
社会調査講義 II	講義	2	
社会調査及び演習 I	講義・演習	2	
社会調査及び演習 II	講義・演習	2	

現代社会学	セ	ミ	ナ	一	I	演習	2
現代社会学	セ	ミ	ナ	一	II	演習	2
社会学	セ	ミ	ナ	一	I	演習	2
社会学	セ	ミ	ナ	一	II	演習	2
社会学	セ	ミ	ナ	一	III	演習	2
社会学	セ	ミ	ナ	一	IV	演習	2
卒業論文					文	—	6
特論							
女性とライフコース	フ	コ	一	ス	特論	講義	2
女性とライフコース	フ	コ	一	ス	特論	講義	2
文化とメディア	メ	デ	イ	ア	特論	講義	2
文化とメディア	メ	デ	イ	ア	特論	講義	2
職業とコミュニティ	コ	ミ	ユ	ニ	テ	イ	特論
職業とコミュニティ	コ	ミ	ユ	ニ	テ	イ	特論
社会学コア							
基礎統計学		統	計	学	I	講義・演習	2
基礎統計学		統	計	学	II	講義・演習	2
現代社会学					論	講義	2
社会学史					史	講義	2
社会調査特論		調	査	特	論	I	講義
社会調査特論		調	査	特	論	II	講義
女性とライフコース							
現代家族社会学					論	講義	2
ジェンダーの社会学	ダ	ー	の	社	学	講義	2
ライフコース	フ	コ	一	ス	論	講義	2
ケアの社会学	ア	の	社	学	学	講義	2
老いと死の社会学	い	と	死	の	学	講義	2
子どもと教育の社会学	ど	も	と	教	学	講義	2
ジェンダーとメンタルヘルス	ダ	ー	と	メ	ン	講義	2
女性と自立支援	性	と	自	立	支	講義	2
恋愛と結婚の社会学	愛	と	結	婚	の	講義	2
アイデンティティ	イ	デ	ン	テ	イ	テ	講義
文化とメディア							
文化表象分析入門	文	化	表	象	分	講義	2
現代メディア論	現	代	メ	デ	イ	講義	2
現代における宗教	現	代	に	お	け	講義	2
グローバル化とエスニシティ	グ	ロ	バ	ル	化	講義	2
サブカルチャーの社会学	サ	ブ	カ	ル	チ	講義	2
身体とファッションの社会学	身	体	と	フ	ア	講義	2
情報社会論	情	報	社	会	論	講義	2
文化人類学	文	化	人	類	学	講義	2
職業とコミュニティ							
日常生活社会学	日	常	生	活	論	講義	2
都市とコミュニティの社会学	都	市	と	コ	ミ	講義	2
産業と経営	産	業	と	経	営	講義	2
医療と社会	医	療	と	社	会	講義	2
社会問題の社会学	社	会	問	題	の	講義	2
環境社会学	環	境	社	会	学	講義	2
集団と組織	集	団	と	組	織	講義	2
現代企業論	現	代	企	業	論	講義	2
外国語							

ビ	ジ	ネ	ス	英	語	演 習	2						
英	語	コ	ミ	ユ	ニ	ケ	ー	シ	ヨ	ン	演 習	2	
留学認定科目													
M a l a y s i a n C u l t u r a l C a m p I						講義・演習	2						
M a l a y s i a n C u l t u r a l C a m p II						講義・演習	4						
異 文 化 理 解 I						—	2						
異 文 化 理 解 II						—	2						
専門特殊講義													
専 門 特 殊 講 義						講 義	2	内容が異なる場合は複数回の履修を認める。					
〔自由科目〕													
(社会体験実習)													
企 業 等 体 験 実 習						—	1又は2						
ス ク ー ル イ ン タ ー ン						—	1又は2						
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動						—	1又は2						
人間関係学科													
社会・臨床心理学専攻													
〔専門教育科目〕													
人間関係学部共通科目													
人 間 関 係 総 論 I						講 義	2						
人 間 関 係 総 論 II						講 義	2						
人 間 関 係 総 論 III						講 義	2						
心 理 学 概 論 I						講 義	2						
心 理 学 概 論 II						講 義	2						
社 会 学 概 論 I						講 義	2						
社 会 学 概 論 II						講 義	2						
社 会 福 祉 学 概 論 I						講 義	2						
社 会 福 祉 学 概 論 II						講 義	2						
社 会 ・ 臨 床 心 理 学 基 礎 セ ミ ナ ー						演 習	2						
心 理 学 研 究 法 基 礎						演 習	2						
社 会 心 理 学 概 論						講 義	2						
基 礎 統 計 学 I						講義・演習	2						
基 礎 統 計 学 II						講義・演習	2						
心 理 学 統 計 法						講義・演習	2						
臨 床 心 理 学 概 論						講 義	2						
社 会 心 理 学 実 験 研 究 法 (心 理 学 実 験)						講義・演習	4						
社 会 心 理 学 調 査 研 究 法						講義・演習	4						
キ ャ リ ア 心 理 学 セ ミ ナ ー						演 習	2						
社 会 ・ 臨 床 心 理 学 セ ミ ナ ー I						演 習	2						
社 会 ・ 臨 床 心 理 学 セ ミ ナ ー II						演 習	2						
社 会 ・ 臨 床 心 理 学 セ ミ ナ ー III						演 習	2						
社 会 ・ 臨 床 心 理 学 セ ミ ナ ー IV						演 習	2						
卒 業 論						—	6						
社会心理学系科目													
自 己 過 程 の 心 理 学						講 義	2						
社 会 的 認 知 の 心 理 学						講 義	2						
集 団 心 理 学						講 義	2						
消 費 行 動 の 社 会 心 理 学						講 義	2						
環 境 の 社 会 心 理 学						講 義	2						
臨床心理学系科目													

教 育 相 談	講 義	2	
精 神 分 析 学	講 義	2	
カ ウ ン セ リ ン グ セ ミ ナ ー	演 習	2	
心 理 検 査 法 セ ミ ナ ー	演 習	4	
A c a d e m i c L i t e r a t u r e I	演 習	2	
A c a d e m i c L i t e r a t u r e II	演 習	2	
融 合 ・ 実 践 科 目			
グ ル ー プ ワ ー ク I	演 習	2	
グ ル ー プ ワ ー ク II	演 習	2	
安 心 ・ 安 全 の 心 理 学	講 義 ・ 演 習	2	
対 人 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 演 習	講 義 ・ 演 習	2	
ウ ェ ル ネ ス の 心 理 学	講 義 ・ 演 習	2	
質 的 研 究 法	講 義 ・ 演 習	2	
心 理 学 専 門 基 礎 科 目			
(公 認 心 理 師 資 格 科 目)			
人 体 の 構 造 と 機 能 及 び 疾 病	講 義	2	
心 理 学 的 支 援 法	講 義	2	
教 育 心 理 学 (教 育 ・ 学 校 心 理 学)	講 義	2	
パ ー ソ ナ リ テ ィ (感 情 ・ 人 格 心 理 学)	講 義	2	
学 習 心 理 学 (学 習 ・ 言 語 心 理 学)	講 義	2	
認 知 心 理 学 (知 覚 ・ 認 知 心 理 学)	講 義	2	
家 族 心 理 学 (社 会 ・ 集 団 ・ 家 族 心 理 学)	講 義	2	
精 神 疾 患 と そ の 治 療	講 義	2	
公 認 心 理 師 の 職 責	講 義	2	
心 理 的 ア セ ス メ ン ト	講 義 ・ 演 習	2	
健 康 ・ 医 療 心 理 学	講 義	2	
福 祉 心 理 学	講 義	2	
障 害 者 ・ 障 害 児 心 理 学	講 義	2	
産 業 ・ 組 織 心 理 学	講 義	2	
司 法 ・ 犯 罪 心 理 学	講 義	2	
発 達 心 理 学	講 義	2	
神 経 ・ 生 理 心 理 学	講 義	2	
関 係 行 政 論	講 義	2	
心 理 学 研 究 法 応 用	講 義 ・ 演 習	4	
心 理 演 習	演 習	2	※
心 理 実 習	実 習	2	※ 80時間実施
英 語			
B u s i n e s s E n g l i s h	演 習	2	
E n g l i s h C o m m u n i c a t i o n	演 習	2	
留 学 認 定 科 目			
M a l a y s i a n C u l t u r a l C a m p I	講 義 ・ 演 習	2	
M a l a y s i a n C u l t u r a l C a m p II	講 義 ・ 演 習	4	
異 文 化 理 解 I	—	2	
異 文 化 理 解 II	—	2	
[自 由 科 目]			
(社 会 体 験 実 習)			
企 業 等 体 験 実 習	—	1又は2	
ス ク ー ル イ ン タ ー ン	—	1又は2	
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	—	1又は2	

※印の科目は、公認心理師国家試験受験資格を取得する場合、必修となる実習演習科目

人間福祉学科

〔専門教育科目〕

人間関係学部共通科目

人間関係	総論	I	講義	2
人間関係	総論	II	講義	2
人間関係	総論	III	講義	2
心理学	概論	I	講義	2
心理学	概論	II	講義	2
社会学	概論	I	講義	2
社会学	概論	II	講義	2
社会学	福祉学概論	I	講義	2
社会学	福祉学概論	II	講義	2
精神疾患とその治療	I	講義	2	
ソーシャルワーク論	I - A	講義	2	
介護の基本 A (介護福祉論)		講義	2	
児童・家庭福祉	論	講義	2	
障害者福祉	論	講義	2	
高齢者福祉	論	講義	2	
社会保健	I	講義	2	
社会学	福祉学基礎セミナー I	演習	2	
社会学	福祉学基礎セミナー II	演習	2	
社会学	福祉学セミナー I	演習	2	
社会学	福祉学セミナー II	演習	2	
社会学	福祉学セミナー III	演習	2	
社会学	福祉学セミナー IV	演習	2	
卒業業論	文	—	4	
医学	概論	講義	2	
心理学と心理的支援	講義	2		
社会学と社会システム	講義	2		
社会学福祉調査の基礎	講義	2		
社会学保健	II	講義	2	
ソーシャルワーク論	I - B	講義	2	
ソーシャルワーク論	II - A	講義	2	
ソーシャルワーク論	II - B	講義	2	
ソーシャルワーク論	III - A	講義	2	
ソーシャルワーク論	III - B	講義	2	
地域福祉論	I	講義	2	
地域福祉論	II	講義	2	
福祉サピスの組織と経営	講義	2		
公的扶助論	講義	2		
医療福祉論	講義	2		
権利擁護と成年後見制度	講義	2		
刑事司法と福祉	講義	2		
相談援助演習	I	演習	1	
相談援助演習	II	演習	1	
相談援助演習	III	演習	1	
相談援助演習	IV	演習	1	

※1※2 30時間実施

※1 30時間実施

※1 30時間実施

※1 30時間実施

相 談 援 助 演 習 V	演 習	1	※1	30時間実施
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 実 践 入 門	演 習	1		
相 談 援 助 実 習 指 導	演 習	1	※1	30時間実施
相 談 援 助 実 習 事 前 指 導	演 習	1	※1	30時間実施
相 談 援 助 実 習 事 後 指 導	演 習	1	※1	30時間実施
相 談 援 助 実 習 I	実 習	4	※1	180時間実施
相 談 援 助 実 習 II	実 習	1	※1	60時間実施
精 神 保 健 の 課 題 と 支 援 I	講 義	2		
精 神 保 健 の 課 題 と 支 援 II	講 義	2		
精 神 疾 患 と そ の 治 療 II	講 義	2		
精 神 保 健 福 祉 の 原 理 I	講 義	2		
精 神 保 健 福 祉 の 原 理 II	講 義	2		
精 神 保 健 福 祉 制 度 論	講 義	2		
精 神 障 害 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 論	講 義	2		
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク の 理 論 と 方 法 I	講 義	2		
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク の 理 論 と 方 法 II	講 義	2		
精 神 保 健 福 祉 援 助 演 習 I	演 習	1	※2	30時間実施
精 神 保 健 福 祉 援 助 演 習 II	演 習	1	※2	30時間実施
精 神 保 健 福 祉 援 助 演 習 III	演 習	1	※2	30時間実施
精 神 保 健 福 祉 援 助 実 習 指 導	演 習	1	※2	30時間実施
精 神 保 健 福 祉 援 助 実 習 事 前 指 導	演 習	1	※2	30時間実施
精 神 保 健 福 祉 援 助 実 習 事 後 指 導	演 習	1	※2	30時間実施
精 神 保 健 福 祉 援 助 実 習 I	実 習	2	※2	60時間実施
精 神 保 健 福 祉 援 助 実 習 II	実 習	3	※2	150時間実施
認 知 症 の 理 解	講 義	2		
発 達 と 老 化 の 理 解	講 義	2		
障 害 の 理 解	講 義	2		
こ こ ろ と か ら だ の し く み A	講 義	2		
こ こ ろ と か ら だ の し く み B	講 義	2		
介 護 の 基 本 B (生 活 と 文 化)	講 義	2		
介 護 の 基 本 C (介 護 と ケ ア マ ネ ジ メ ン ト)	講 義	2		
介 護 の 基 本 D (介 護 予 防)	講 義	2		
介 護 の 基 本 E (介 護 と 自 立 支 援)	講 義	2		
介 護 の 基 本 F (介 護 と リ ス ク マ ネ ジ メ ン ト)	講 義	2		
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 技 術 A	講 義	2		
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 技 術 B	講 義	2		
生 活 支 援 技 術 A ー I	演 習	1		
生 活 支 援 技 術 A ー II	演 習	1		
生 活 支 援 技 術 B	演 習	2		
生 活 支 援 技 術 C	演 習	2		
生 活 支 援 技 術 D	演 習	2		
生 活 支 援 技 術 E	演 習	2		
介 護 過 程 I (介 護 過 程 の 基 礎)	講 義	2		
介 護 過 程 II ー A	演 習	2		
介 護 過 程 II ー B	演 習	1		
介 護 過 程 III	演 習	1		
介 護 総 合 演 習 I	演 習	1		
介 護 総 合 演 習 II	演 習	1		
介 護 総 合 演 習 III	演 習	1		
介 護 総 合 演 習 IV	演 習	1		
介 護 実 習 入 門	実 習	1		

介	護	実	習	I	実	習	2										
介	護	実	習	II	実	習	2										
介	護	実	習	III	実	習	4										
介	護	実	習	IV	実	習	1										
医	療	的	ケ	ア	I	講	義	2									
医	療	的	ケ	ア	II	講	義	2									
医	療	的	ケ	ア	III	講	義・演	2									
福	社	レ	ク	リ	エ	ー	シ	ョ	ン	論	講	義	2				
福	社	レ	ク	リ	エ	ー	シ	ョ	ン	援	助	論	講	義	2		
福	社	レ	ク	リ	エ	ー	シ	ョ	ン	援	助	技	術	演	習	1	
福	社	レ	ク	リ	エ	ー	シ	ョ	ン	総	合	実	習	実	習	1	
社	会	的	養	護	論	講	義	2									
保	育	原	理	講	義	2											
発	達	障	害	と	子	育	て	支	援	講	義	2					
子	ど	も	の	保	健	講	義	2									
就	労	支	援	サ	ー	ビ	ス	講	義	2							
障	害	特	性	論	講	義	2										
ジ	ョ	ブ	コ	ー	チ	論	講	義	2								
介	護	技	術	講	義・演	習	2										
ケ	ア	・	マ	ネ	ジ	メ	ン	ト	論	講	義	2					
家	族	支	援	論	講	義	2										
家	政	学	実	習	A	講	義・実	2									
家	政	学	実	習	B	講	義・実	2									
女	性	と	企	業	講	義	2										
ス	ク	ー	ル	ソ	ー	シ	ャ	ル	ワ	ー	ク	論	講	義	2		
生	活	総	合	美	学	講	義	2									
多	文	化	共	生	論	講	義	2									
自	己	表	現	論	講	義	2										
社	会	福	祉	学	特	別	講	義	講	義	2						
介	護	福	祉	学	特	別	講	義	講	義	2						
社	会	福	祉	専	門	実	習	講	義・実	3							
ビ	ジ	ネ	ス	英	語	演	習	2									
英	語	コ	ミ	ユ	ニ	ケ	ー	シ	ョ	ン	演	習	2				
M a l a y s i a n	C u l t u r a l	C a m p	I	講	義・演	2	留	学	認	定	科	目					
M a l a y s i a n	C u l t u r a l	C a m p	II	講	義・演	4	留	学	認	定	科	目					
異	文	化	理	解	I	—	2	留	学	認	定	科	目				
異	文	化	理	解	II	—	2	留	学	認	定	科	目				
〔自由科目〕																	
（社会体験実習）																	
企	業	等	体	験	実	習	—	1	又	は	2						
ス	ク	ー	ル	イ	ン	タ	ー	ン	—	1	又	は	2				
ボ	ラ	ン	テ	ィ	ア	活	動	—	1	又	は	2					
※印1の科目は、社会福祉士 国家試験受験資格を取得する 場合、必修となる実習演習科 目																	
※印2の科目は、精神保健福 祉士国家試験受験資格を取得 する場合、必修となる実習演 習科目																	

比較文化学科											
〔専門教育科目〕											
日本文化											
日	本	の	歴	史	と	風	土	講	義	2	
日	本	の	社	会	と	民	俗	講	義	2	
日	本	の	思	想	と	宗	教	講	義	2	
日	本	の				美	術	講	義	2	
日	本	の	近	代	化	と	世	講	義	2	
国際関係・国際交流											
文	化	交	流	論				講	義	2	
国	際	関	係	論				講	義	2	
国	家	と	民	族				講	義	2	
多	国	籍	企	業				講	義	2	
比較文化											
言	語	と	比	較	文	化		講	義	2	
比	較	文	学	論	(方	法	と	実	践	
比	較	文	学	論	(テ	ー	マ	と	考	
比	較	演	劇	論	(古	典)			
比	較	演	劇	論	(近	現	代)		
言	語	科	学	入	門			講	義	2	
国	際	政	治	経	済	論		講	義	2	
基礎											
比	較	文	化	論				講	義	2	
比	較	社	会	論				講	義	2	
比	較	文	化	入	門			演	習	2	
日	本	文	学	(古	典)	講	義	2	
日	本	文	学	(近	現	代)	講	義	2
外	国	語	で	学	ぶ	比	較	文	化	2	
ジ	ェ	ン	ダ	ー				講	義	2	
表	象	文	化	論				講	義	2	
外国語											
フ	ラ	ン	ス	語	V			演	習	1	
フ	ラ	ン	ス	語	VI			演	習	1	
ド	イ	ツ		語	V			演	習	1	
ド	イ	ツ		語	VI			演	習	1	
ス	ペ	イ	ン	語	V			演	習	1	
ス	ペ	イ	ン	語	VI			演	習	1	
ロ	シ	ア		語	V			演	習	1	
ロ	シ	ア		語	VI			演	習	1	
中		国		語	V			演	習	1	
中		国		語	VI			演	習	1	
韓		国		語	V			演	習	1	
韓		国		語	VI			演	習	1	
アジア文化											
ア	ジ	ア	研	究	入	門	A	I	(文	
ア	ジ	ア	研	究	入	門	A	II	(文	
ア	ジ	ア	研	究	入	門	B	I	(思	
ア	ジ	ア	研	究	入	門	B	II	(思	
ア	ジ	ア	研	究	入	門	C	I	(文	
ア	ジ	ア	研	究	入	門	C	II	(文	
ア	ジ	ア	文	化	研	究	A	I			

ア	ジ	ア	文	化	研	究	A	II	講義	2		
ア	ジ	ア	文	化	研	究	B	I	講義	2		
ア	ジ	ア	文	化	研	究	B	II	講義	2		
ア	ジ	ア	文	化	研	究	C	I	講義	2		
ア	ジ	ア	文	化	研	究	C	II	講義	2		
ア	ジ	ア	文	化	研	究	D	I	講義	2		
ア	ジ	ア	文	化	研	究	D	II	講義	2		
ア	ジ	ア	文	化	研	究	E	I	講義	2		
ア	ジ	ア	文	化	研	究	E	II	講義	2		
アメリカ文化												
ア	メ	リ	カ	研	究	入	門	A	I (文化と社会)	講義	2	
ア	メ	リ	カ	研	究	入	門	A	II (文化と社会)	講義	2	
ア	メ	リ	カ	研	究	入	門	B	I (思想と宗教)	講義	2	
ア	メ	リ	カ	研	究	入	門	B	II (思想と宗教)	講義	2	
ア	メ	リ	カ	研	究	入	門	C	I (文学と芸術)	講義	2	
ア	メ	リ	カ	研	究	入	門	C	II (文学と芸術)	講義	2	
ア	メ	リ	カ	文	化	研	究	A	I	講義	2	
ア	メ	リ	カ	文	化	研	究	A	II	講義	2	
ア	メ	リ	カ	文	化	研	究	B	I	講義	2	
ア	メ	リ	カ	文	化	研	究	B	II	講義	2	
ア	メ	リ	カ	文	化	研	究	C	I	講義	2	
ア	メ	リ	カ	文	化	研	究	C	II	講義	2	
ア	メ	リ	カ	文	化	研	究	D	I	講義	2	
ア	メ	リ	カ	文	化	研	究	D	II	講義	2	
ア	メ	リ	カ	文	化	研	究	E	I	講義	2	
ア	メ	リ	カ	文	化	研	究	E	II	講義	2	
ヨーロッパ文化												
ヨ	ー	ロ	ッ	パ	研	究	入	門	A	I (文化と社会)	講義	2
ヨ	ー	ロ	ッ	パ	研	究	入	門	A	II (文化と社会)	講義	2
ヨ	ー	ロ	ッ	パ	研	究	入	門	B	I (思想と宗教)	講義	2
ヨ	ー	ロ	ッ	パ	研	究	入	門	B	II (思想と宗教)	講義	2
ヨ	ー	ロ	ッ	パ	研	究	入	門	C	I (文学と芸術)	講義	2
ヨ	ー	ロ	ッ	パ	研	究	入	門	C	II (文学と芸術)	講義	2
ヨ	ー	ロ	ッ	パ	文	化	研	究	A	I	講義	2
ヨ	ー	ロ	ッ	パ	文	化	研	究	A	II	講義	2
ヨ	ー	ロ	ッ	パ	文	化	研	究	B	I	講義	2
ヨ	ー	ロ	ッ	パ	文	化	研	究	B	II	講義	2
ヨ	ー	ロ	ッ	パ	文	化	研	究	C	I	講義	2
ヨ	ー	ロ	ッ	パ	文	化	研	究	C	II	講義	2
ヨ	ー	ロ	ッ	パ	文	化	研	究	D	I	講義	2
ヨ	ー	ロ	ッ	パ	文	化	研	究	D	II	講義	2
ヨ	ー	ロ	ッ	パ	文	化	研	究	E	I	講義	2
ヨ	ー	ロ	ッ	パ	文	化	研	究	E	II	講義	2
比	較	文	化	セ	ミ	ナ	ー	I	演習	2		
比	較	文	化	セ	ミ	ナ	ー	II	演習	2		
卒		業		論		文			一	6		
言	語											
中	国	語	セ	ミ	ナ	ー	A	I (理解)	演習	1		
中	国	語	セ	ミ	ナ	ー	A	II (理解)	演習	1		
中	国	語	セ	ミ	ナ	ー	B	I (表現)	演習	1		

中国語	セミナー	B II	(表現)	演習	1
中国語	セミナー	C I	(総合)	演習	1
中国語	セミナー	C II	(総合)	演習	1
中国語	セミナー	D I	(発展)	演習	1
中国語	セミナー	D II	(発展)	演習	1
英語	セミナー	A I	(理解)	演習	1
英語	セミナー	A II	(理解)	演習	1
英語	セミナー	B I	(表現)	演習	1
英語	セミナー	B II	(表現)	演習	1
英語	セミナー	C I	(総合)	演習	1
英語	セミナー	C II	(総合)	演習	1
英語	セミナー	D I	(発展)	演習	1
英語	セミナー	D II	(発展)	演習	1
フランス語	セミナー	A I	(理解)	演習	1
フランス語	セミナー	A II	(理解)	演習	1
フランス語	セミナー	B I	(表現)	演習	1
フランス語	セミナー	B II	(表現)	演習	1
フランス語	セミナー	C I	(総合)	演習	1
フランス語	セミナー	C II	(総合)	演習	1
フランス語	セミナー	D I	(発展)	演習	1
フランス語	セミナー	D II	(発展)	演習	1
ドイツ語	セミナー	A I	(理解)	演習	1
ドイツ語	セミナー	A II	(理解)	演習	1
ドイツ語	セミナー	B I	(表現)	演習	1
ドイツ語	セミナー	B II	(表現)	演習	1
ドイツ語	セミナー	C I	(総合)	演習	1
ドイツ語	セミナー	C II	(総合)	演習	1
ドイツ語	セミナー	D I	(発展)	演習	1
ドイツ語	セミナー	D II	(発展)	演習	1
関連科目					
比較文化	演習	I	演習	2	
比較文化	演習	II	演習	2	
比較文化	演習 (副ゼミ)	I	演習	2	
比較文化	演習 (副ゼミ)	II	演習	2	
都市文化	論		講義	2	
日韓	関係論		講義	2	
日中	関係論		講義	2	
日米	関係論		講義	2	
日欧	関係論		講義	2	
イスラムの文化	と社会		講義	2	
ロシア・東欧	事情		講義	2	
口承文芸	と民間信仰		講義	2	
多民族・多文化	社会		講義	2	
諸外国との国際交流	I (アジア圏)		—	2	
諸外国との国際交流	II (アメリカ圏)		—	2	
諸外国との国際交流	III (ヨーロッパ圏)		—	2	
諸外国との国際交流	IV (オセアニア圏)		—	2	
専門特殊講義					

専 門 特 殊 講 義	講 義	2	内容が異なる場合は複数回の履修を認める。
[自由科目]			
(社会体験実習)			
企 業 等 体 験 実 習	—	1又は2	
ス ク ー ル イ ン タ ー ン	—	1又は2	
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	—	1又は2	

別表(2)

授 業 科 目	授業形態	単位数		備 考
		必修	選択	
[教職に関する専門教育科目]				
家 庭 科 教 育 法 I	講 義	2		「家庭」のみ必修
家 庭 科 教 育 法 II	講 義	2		「家庭」のみ必修
家 庭 科 教 育 法 III	講 義	2		「家庭」のみ必修
家 庭 科 教 育 法 IV	講 義	2		「家庭」のみ必修
国 語 科 教 育 法 I	講 義	2		「国語」のみ必修
国 語 科 教 育 法 II	講 義	2		「国語」のみ必修
国 語 科 教 育 法 III	講 義	2		「国語」のみ必修
国 語 科 教 育 法 IV	講 義	2		「国語」のみ必修
英 語 科 教 育 法 I	講 義	2		「英語」のみ必修
英 語 科 教 育 法 II	講 義	2		「英語」のみ必修
英 語 科 教 育 法 III	講 義	2		「英語」のみ必修
英 語 科 教 育 法 IV	講 義	2		「英語」のみ必修
情 報 科 教 育 法 I	講 義	2		「情報」のみ必修
情 報 科 教 育 法 II	講 義	2		「情報」のみ必修
理 科 教 育 法 I	講 義	2		「理科」のみ必修
理 科 教 育 法 II	講 義	2		「理科」のみ必修
理 科 教 育 法 III	講 義	2		「理科」のみ必修
理 科 教 育 法 IV	講 義	2		「理科」のみ必修
教 育 原 理	講 義	2		
教 育 職 入 門	講 義	2		
教 育 制 度 要 説 (含 学 校 経 営)	講 義	2		
教 育 心 理 学	講 義	2		
青 年 心 理 学	講 義	2	2	
特 別 支 援 教 育 要 説	講 義	1		
教 育 課 程 論	講 義	2		
道 徳 教 育 要 説	講 義	2	2	中一種免、栄教一種・二種免必修
総 合 的 な 学 習 の 時 間 要 説	講 義	1		
特 別 活 動 要 説	講 義	2		
教 育 の 方 法 と 技 術	講 義	2		
I C T 活 用 の 理 論 と 実 践	講 義	1		中高一種免必修
生 徒 ・ 進 路 指 導 論	講 義	2		中高一種免のみ必修
生 徒 指 導 論	講 義	2		栄教一種・二種免のみ必修
教 育 相 談	講 義	2		
教 育 実 習 I	実 習	2		中高一種免必修
教 育 実 習 II	実 習	2	2	中一種免必修
教 育 実 習 指 導 I	講 義	2		中高一種免必修
教 育 実 習 指 導 II	講 義	2		中高一種免必修
栄 養 教 育 実 習 (含 事 前 事 後 指 導)	実 習	2		栄教一種・二種免必修

教職実践演習（中・高）	演習	2		中高一種免必修
教職実践演習（栄養教諭）	演習	2		栄教一種・二種免必修

別表（3）

授業科目	授業形態	単位数		備考
		必修	選択	
〔図書館司書に関する専門教育科目〕				
生涯学習概論	講義	2		
図書館概論	講義	2		
図書館制度・経営論	講義	2		
図書館情報技術論	講義・演習	2		
図書館サービス概論	講義	2		
情報サービス論	講義	2		
児童サービス論	講義・演習	2		
情報サービス演習（1）	演習	1		
情報サービス演習（2）	演習	1		
図書館情報資源概論	講義	2		
情報資源組織論	講義	2		
情報資源組織演習	演習	2		
図書館基礎特論	講義		1	
図書館サービス特論（1）	講義		1	
図書館サービス特論（2）	講義		1	
図書館情報資源特論（1）	講義		1	
図書館情報資源特論（2）	講義		1	
書・図書館史	講義		1	
図書館施設論	講義		1	
図書館総合演習	演習		1	

別表（4）

授業科目	授業形態	単位数		備考
		必修	選択	
〔学校図書館司書教諭に関する専門教育科目〕				
学校経営と学校図書館	講義	2		
図書館情報資源概論	講義	2		
情報資源組織論	講義	2		
学習指導と学校図書館	講義	2		
読書と豊かな人間性	講義	2		
情報メディアの活用	講義	2		

別表（5）

授業科目	授業形態	単位数		備考
		必修	選択	
〔学芸員に関する専門教育科目〕				
生涯学習概論	講義	2		
博物館概論	講義	2		
博物館経営論	講義	2		
博物館資料論	講義	2		
博物館資料保存論	講義	2		

博	物	館	展	示	論	講義	2	
博	物	館	教	育	論	講義	2	
博	物	情	メ	デ	論	講義	2	
博	物	報	・	ィ	ア	論	2	
文			館	実		習	3	
文		化		史	A	講義		2
美		化		史	B	講義		2
美		術		史	A	講義		2
美		術		史	B	講義		2
考	術	の		世	界	講義		2
民	古	学	の	世	界	講義		2
民		俗		学	A	講義		2
生		俗		学	B	講義		2
生	活	の		物	理	講義		2
人	活	の		化	学	講義		2
	類	の		進	化	講義		2

別表（6）

授 業 科 目	授業形態	単位数		備 考
		必修	選択	
〔日本語教員養成プログラム〕				
日 本 語 学 要 説 I	講義	2		
日 本 語 学 要 説 II	講義		2	
日 本 語 教 授 法 I	講義	2		
日 本 語 教 授 法 II	講義		2	
日 本 語 教 材 研 究 I	講義	2		
日 本 語 教 材 研 究 II	講義		2	
日 本 語 教 育 学 特 殊 講 義 (心 理 言 語)	講義		2	
日 本 語 教 育 学 演 習 I	演習		2	
日 本 語 教 育 学 演 習 II	演習		2	
日 本 語 教 育 実 習 I	実習	1		
日 本 語 教 育 実 習 II	実習	1		